



<https://www.kwansei.ac.jp/lawschool/>



◀ 司法研究科HPへはこちら

関西学院大学ロースクールの概要

- 名称 関西学院大学大学院司法研究科法務専攻
- 課程 専門職学位課程
- 学位 法務博士(専門職)
- 学生定員 入学定員30名 収容定員90名
- 設置時期 2004年4月
- 設置場所 西宮北口キャンパス
- 教員組織 専任教員19名
(研究者教員11名・実務家教員8名)



司法研究科事務室

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町5番22号
西宮ガーデンズゲート館7階
TEL.(0798)31-0106
FAX.(0798)31-0141
E-mail:kglawschool@kwansei.ac.jp

西宮北口キャンパス



アクセス図



このパンフレットの内容は2021年4月1日現在のものです。
入学時の内容と異なることがあります。
「入試要項」の請求、最新情報については、
ホームページでご確認いただくか、司法研究科事務室まで
お問い合わせください。

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

LAW SCHOOL 関西学院大学 法科大学院



2022

関西学院大学ロースクールが目指すもの

MASTERY FOR SERVICE の精神で自分を磨く。

関西学院大学ロースクールは、次のような人を求めます。

- I 将来社会に出て、ロースクールで学んだ知識をもとに社会に貢献しようという確固たる意志を持つ人。
- II そのためにはどんな厳しい勉強にも耐えぬ覚悟がある人。

関西学院で学ぶ意味

1889年、アメリカ人宣教師のW.R.ランバスが関西学院を創立しました。

彼自身、神学を究めた宣教師でしたが、それと同時に、医学を究めたスペシャリストでもありました。彼はその生涯において、自身の高い専門知識をもって、日本や中国だけでなく世界4大陸で伝道、教育、医療活動にあたりました。学生時代に必死になって学び得た知識は、自分自身のために使うのではなく、この社会や世界で貢献するために使う。まさに“World Citizen(世界市民)”という信念のもとにその生涯を全うした人でした。

そのような精神を受け継ぎ、彼と同じく社会や世界に貢献するために必死で勉強しようと志す後輩を育成するために彼は関西学院を創立しました。それ以降、関西学院では“Mastery for Service”(奉仕のための練達：隣人・社会・世界に仕えるため、自らを鍛える)

養成する法曹像

本学では「人権感覚豊かな市民法曹」「企業法務に強い法曹」「公務に強い法曹」および「国際的に活躍できる法曹」の養成を目的として掲げています。この4つの法実務のいずれの分野においても“Mastery for Service”を体現していくことのできる法曹を養成することを目的としています。概要は次のとおりです。

人権感覚豊かな市民法曹

複雑化、多様化する社会の中で、社会的弱者の立場に立ち、社会に奉仕できる市民法曹の存在が求められています。関西学院の約130年のキリスト教主義教育のもとに、法律の専門的知識とともに社会的責任感・倫理観をしっかり持った人権感覚に優れた、市民に貢献できる法曹を養成します。

企業法務に強い法曹

企業活動をめぐる法律関係が複雑化・専門化・多様化している現在、ビジネスローや企業法務に詳しい法律知識を持った法曹に対する需要は、急速に増加しています。特に、企業経営という視点から見ても、そのような専門的法律知識を有する企業内弁護士への需要は、ますます拡大することが考えられます。同時に、これまで経済・産業界に多くの優秀な人材を輩出してきた本学において、法律知識だけでなく経営学や経済学の視点も併せ持った、視野の広い、産業界において不可欠となるであろう法曹を養成します。

をスクール・モットーに、高い専門知識を養成する教育機関として、これまでに多くの人材を送り出してきました。

関西学院で学ぶ意味。それは「知識を求めるのは、単に知識のために求めるのではなく、まして名誉のためでもなくて、人や社会に対して良き務めをなすことができる者となるためである」の意味を理解し、そうなるために努力を惜しまず学ぶことです。

時は流れて2004年、この関西学院の精神を継承するロースクールが誕生しました。

関西学院大学ロースクールは、将来高い法務知識をもって社会に貢献することを志す人、そのために努力を惜しまない人の入学をお待ちしています。そして、入学された皆さんの目的達成にむけて全力でサポートいたします。

公務に強い法曹

社会経済情勢の複雑化に伴い派生する多様な法的ニーズに対応するため、弁護士を取り扱う業務分野・領域は、広く拡充しています。昨今では、専門的な知識経験又は優れた識見を有する人材が行政に携わり、コンプライアンスの確立や政策法務の前進などを担う公務法曹の需要が高まっています。本学では、公務法曹教育の充実により、とりわけ自治体法務を担うことのできる高度の法務能力を備えた法曹を養成します。

国際的に活躍できる法曹

グローバル化が進む中で、国際犯罪や国際商事紛争が増加していることから、国際的感覚と外国法の知識を有した法曹が求められています。外国の法律知識や国際的感覚を持つ人材の養成は、外国語教育の充実した、また国際色豊かな関西学院の特色を生かすことで可能となります。特に日本法の実務知識だけでなく、留学等を通じて、将来、外国と日本の架け橋となり、国際的に活躍できる法曹を養成します。

LAW SCHOOL

来たれ、 関西学院大学 ロースクールへ



司法研究科長
野田 輝久
(のだ てるひさ)

PROFILE

1967年生まれ。青山学院大学法学部卒業後、青山学院大学大学院法学研究科私法専攻博士前期課程修了、ドイツ・ミュンスター大学法学博士号取得。青山学院大学大学院法学研究科私法専攻博士後期課程単位取得満期退学。
関西学院大学ロースクールには2013年から在籍し、主に会社法を担当。
学外においては、公認会計士試験考査委員(2011年~2014年)などを務める。
著書として、「会社法重要判例(第3版)」(共著、成文堂、2019年)など。

た教員体制、1クラス最大10名程度の演習や実務科目を中心とする徹底した少人数教育、在学生全員に保障される個人専用キャレ(自習机)等の充実した設備、本学出身の弁護士や上級生による丁寧な学習支援などの体制を整えています。教員やOBの熱心さ、学生との距離の近さは、他校と比べても決して引けをとるものではないと自負しています。きめ細やかな就職支援も行っています。

夢と希望にあふれた意欲あるあなたを、関西学院大学ロースクールは待っています。

関学*ロースクールは、2004年度に設立され、2021年度で18年目を迎えました。これまでの15回の司法試験ですでに372名の合格者を出し、法曹界に確固たる地歩を築いています。

2019年4月に、関西学院大学ロースクールは、通学に非常に便利で駅に直結している西宮北口キャンパスに移転しました。

新しいキャンパスで、あなたが理想とする法曹像を志高く描いて、法曹への道を歩みませんか。

優れた研究者教員と経験豊かな実務家教員とがバランスよく配置され

*「関学」は関西学院大学の略称です。

関西学院大学ロースクールの3方針

ADMISSION POLICY

関西学院大学ロースクールは、スクール・モットー“Mastery for Service(奉仕のための練達)”のもとに高度専門職業人の養成に特化した専門職大学院(法科大学院)であって、人権感覚豊かな、かつ、現代社会の多様な法的ニーズに応える市民法曹として、法曹にふさわしいよき仕事(Good Work)を遂行できる人材の養成を目的とする。この目的の達成を目指し、高度な専門知識と深い洞察力、豊かな人間性と強い責任感、高い倫理観を育成し、社会に貢献する法曹を養成するため、次のような人物を求める。

- ロースクールにおいて必要とされる論理的思考力、分析力および表現力を有する者。
- 幅広い分野において顕著な活動を行った者や、専門的な能力、資格を有する者などで、将来法曹となった時にその特長を十分に活かし社会に寄与する活動が期待できる者。
- 出身学部にかかわらず、ロースクールにおいて必要とされる法学の基本的な学識を有する者。

CURRICULUM POLICY

基礎から応用へ。実定法を中心とした法の基本知識の修得、その理解の深化、実務の基本知識の修得、そして総合的学習、展開・先端科目の学修へ。このような段階的学修のために、独自のカリキュラムを用意し、司法ニーズに的確に対応できる、幅広い教養と人間性を身につけた法曹を養成する。最終年次のカリキュラムは、一人ひとりの自主性を尊重した自由度の高いものとなっており、それぞれの目標に応じた学びを実現することができる。完全セメスター制を採用し、集中的に学修する。

まず、1年次では、法律の基本的な知識の修得を目的とした法律基本科目を必修科目として配置するとともに、幅広い教養と豊かな人間性を養うことを目的として基礎法学・隣接科目群を配置している。また、少人数で行う基礎演習を設け、導入教育を行う。次に、2年次では、法律基本科目の他、その発展として、各実定法の演習科目を必修科目とし、重要論点を双方のケースメソッドなどで学修することにより、当該法律についての理解をより深めていく。また、実務基礎科目群は、ロースクール教育の柱の一つである「実務教育の導入部分」を担い、1年次で修得した基本的知識をもとに法曹としての責任感・倫理観を涵養する。現実と触れ合う科目を幅広く設置することにより確実な実務基礎の修得を図り、エクステンション、ローヤリング、クリニックなどにより実務的感覚を体得する。さらに、展開・先端科目群は、法曹としてどのようなフィールドに進むのかを発見したり、すでに関心のある専門領域を持っている者の基礎的教育を目的としている。「企業法務科目」「国際関係科目」「現代社会と法関係科目」「政策法務科目」という4つの領域に配置された科目は網羅的であり、現代の各領域における問題点を取り扱う。最後に、3年次では、法律基本科目について総合的・横断的な学修を行う。また、少人数で行う特別演習を設け、思考力、論理力、表現力などの養成を行う。

DIPLOMA POLICY

3年(6学期間。なお、法学既修者については、2年・4学期間)以上在学し、「法律基本科目群」「実務基礎科目群」「基礎法学・隣接科目群」「展開・先端科目群」「特別演習科目群」の5つの科目群から、修了に必要な所定の単位を修得することを求めている。なお、1年次から2年次、および2年次から3年次への進級に際しては、「法律基本科目群」および「実務基礎科目群」の必修科目の平均GPAを基準にした進級制度を設けている。これら5つの科目群の学修を通して、厳格な成績評価のもと、法曹に求められる最低限の法に関する専門知識と、それをもとにした体系的な法的思考能力、創造的・批判的な法的思考能力、事例の分析能力を身につけた者に、法務博士の学位を授与する。

* 詳細は20pを参照ください。

CONTENTS

巻頭特集

関西学院大学 ロースクールが目指すもの	01-02
研究科長からのメッセージ	03
関西学院大学ロースクールの3方針	04
ロースクールを目指す皆さんへ	05
2022年度入学者向けトピックス	06
西宮北口キャンパス 6つの“近い”	07-08
施設紹介	09-12

関西学院大学 ロースクール基本情報

入試情報	13-14
学費・奨学金	15-16

関西学院大学 ロースクールの強み

3年間の学び	17-18
カリキュラム	19-20
授業紹介	21
模擬依頼者(SC)を活用した教育	22
在学生のロースクール生活	23-24
学習サポート	25-26
学生生活サポート	27-28
キャリアサポート	29-30
入学前サポート	31
各種サポート	32
修了生サポート	33-34
教員紹介	35-38

関西学院大学 ロースクールを振り返って

OB・OGのロースクール生活	39-40
各界で活躍している OB・OGからのメッセージ	41-42

ロースクールを目指す皆さんへ

関学ロースクールは、
多くの優秀な人材を養成します！

関学ロースクールは西宮北口キャンパスへの移転を経て、さらなる飛躍を展望します。そのベースは、われわれの教育力への確固たる自信です。



あなたはどれにあてはまりますか？

■ これまでに得た法律の基礎知識を活かして、最短で司法試験合格を目指したいあなた

法学既修者コース(2年制)へ **24pへGO!** (在学生の生活)

本学では法学部4年+法科大学院2年で学修されている方はもちろん、最短=法学部3年(早期卒業)+法科大学院2年で修了した方の司法試験現役(初回)合格実績があります。



■ 大学新卒者で、基礎からしっかり学んで法曹を目指したいあなた
■ 社会人経験者で、法曹資格を取ってキャリアチェンジしたいあなた

法学未修者コース(3年制)へ **23pへGO!** (在学生の生活)

法学未修者には、入学前・入学後を通して、勉強方法をきめ細かくフォローする手厚い体制が用意されています！



司法試験とは？その先のキャリアとは？

累計合格者 **372名**
(2006年～2020年)

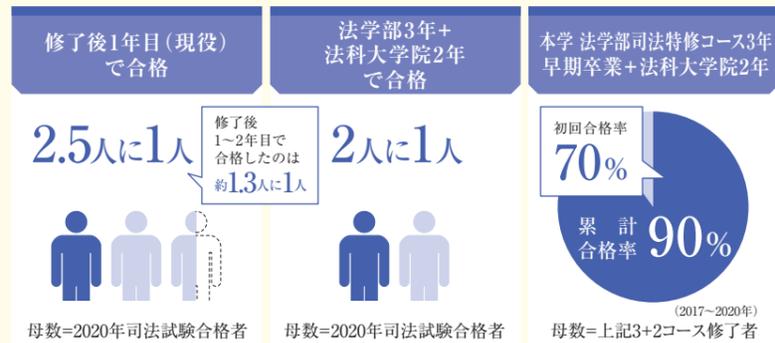
2020年司法試験合格実績

- ✓ 合格率: 21.7%
- ✓ 合格者数: 10名 (既修7、未修3)



司法試験・キャリアサポート HPへ

～グラフで見る、本学の合格実績～



■ 司法試験は難しいの？～全国の実態～

2010～2017年はおよそ4倍の競争倍率でしたが、2020年は約2.5人に1人が合格。より身近な試験になりました。

■ どのようなキャリアを目指せるの？ **41-42pへGO!** (OB・OGメッセージ)

ロースクールを修了し、司法試験に合格すると、法曹(裁判官、弁護士、検察官)への道が開かれます。また専門性の高いロースクールでの学びを活かして、公務員や一般企業の法務部門担当として活躍を目指すことも可能です。

2022年度入学者向けトピックス

1 手厚い奨学金制度 **15-16pへGO!**

本学では在学生の学修支援のために、標準修業年限内は在生全員が受給できる、給付型の手厚い奨学金制度を用意しています。特にA日程入試の合格者は、全員が特別支給奨学金(学費全額相当額)および入学支給奨学金(入学金相当額)に採用されるなど、非常に手厚い制度と

なっています。B・C・D日程入試の合格者は、入学試験の成績に応じて各種の支給奨学金に採用されます。また、いずれの奨学金にも採用されなかった場合でも、学費を国立大学ロースクール並に実質低減する第3種支給奨学金に採用されます。

2 ～最短の法学部3年+法科大学院2年で学修したい皆さんへ～ 5年一貫型入試・開放型入試を新設します。 **13-14pへGO!**

法曹コース制度*1開始に伴い、関西学院大学ロースクールでは2022年度入試から法曹コース修了予定者を対象とした「5年一貫型入試(法学既修者)*2」・「開放型入試(法学既修者)*3」の2つの入試区分を新設します。

■ 5年一貫型入試

筆記試験を課さず、学部成績および面接試験によって選抜します。

■ 開放型入試

筆記試験および学部成績によって選抜します。一般入試と比較して学部成績の配点比率が高く設定されています。

詳細は文部科学省 HPを参照▶



- *1 2019年度以降の大学入学者を対象に、法学部と法科大学院が連携して一貫した法学教育を行う新しい制度。
- *2 関西学院大学ロースクールと連携協定を締結している法曹コース(関西学院大学法学部「法曹養成連携プログラム」)の修了予定者のみ受験可能。
- *3 関西学院大学ロースクールと連携協定を締結していない法曹コースの修了予定者であっても受験可能。

法曹コースの設置がない、法曹コースを修了できるか不安なあなた。
早期卒業や飛び級制度を利用して、同じく最短の学部3年+法科大学院2年で司法試験合格を目指すことも可能です。

3 履修免除試験の実施

2022年度入試合格者*4を対象に「履修免除試験」を実施します。

試験科目は民事訴訟法と刑事訴訟法の2科目です。試験の結果、当該科目の知識が一定の水準に達していると認められた場合は、入学後に当該科目の履修を免除します。履修免除試験は、D日程入試法学未修者試験と同日に実施します。詳細は2021年6月上旬発行予定の入試要項を確認してください。

- *4 D日程入試受験者は、法学既修者試験を受験することが履修免除試験の受験を認める条件となります。なお、D日程入試の可否判定において、履修免除試験の結果が影響することはありません。

4 A・B・C・Dの4日程で実施。 本学(西宮)以外の試験場を東京、岡山、福岡に設置します。 **13-14pへGO!**

5 司法試験の在学中受験で、法曹資格取得までの道がより身近に。

司法試験をロースクール在学中に受験する場合*5、大学進学から最短約6年[法学部3年+ロースクール2年(在学中受験)+司法修習1年]で法曹資格取得可能となります。

- *5 司法試験の在学中受験のためには、所定の単位修得、ロースクール修了見込等の条件があります。2023年度から運用開始予定。

～あなたに“近い”関学ロースクールへ～

西宮北口 キャンパス

6つの“近い”



POINT

4 司法試験合格が“近い”

■ 2020年司法試験合格の実績

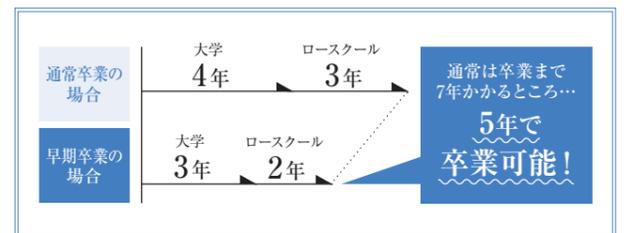
合格率 **21.7%** 合格者数 **10名** 修了後1年目(現役)合格者 **4名(内数)** 修了後1年目(現役)の合格率 **50.0%**

■ 最短5年での司法試験合格

早期卒業制度を利用することで、3年で大学を卒業後、ロースクールを2年(既修)で修了し、最短5年で司法試験合格を目指すことが可能です。本学は、最短5年で司法試験合格の実績があります。

※早期卒業については、司法研究科事務室にお問い合わせください。

先輩からのメッセージ▶



■ 教育支援体制の充実

本学の教育体制は、研究者教員と実務家教員をバランス良く配置し、理論と実務の融合を図っていることが大きな特徴です。カリキュラムは、基礎学力の確立から発展へ段階的に学修していけるよう組み立てられており、少人数教育の徹底や1対1の個人指導など、教員によるきめ細やかな勉強指導を通して着実に実力をつけられる体制を備えています。また、現在法曹として活躍しているOB・OGを講師として、正課外のさまざまな学習サポートプログラムを実施しています。

■ 給付型奨学金制度の充実

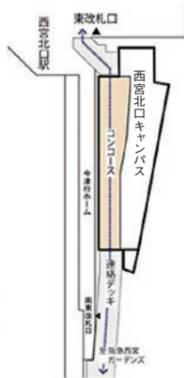
本学では、皆さんが万全の体制で学修に打ち込めるようさまざまな給付型の奨学金制度を備えています。特にA日程入試での入学者は、学費全額相当を給付する「特別支給奨学金」と、入学金相当額を給付する「入学支給奨学金」に全員が採用されます。B・C・D日程での入学者についても、入試の成績に応じて「特別支給奨学金」や、学費半額相当を給付する「第1種支給奨学金」に採用される可能性があります。その他、入学後の成績に応じて採用される「第2種支給奨学金」などもあります。(詳細は16p)

■ キャンパス内施設の充実 9-11pを参照ください。

POINT

1 キャンパスが“近い”

阪急西宮北口駅改札からキャンパスまで徒歩1分。改札からキャンパス入口までが直結しており、雨にぬれずに通学することが可能です。また、西宮北口駅は大阪、神戸、宝塚の中心に位置しており、関西で活躍するOB・OGや企業・地域とのコラボレーションに適しています。



POINT

2 地域が“近い”

公務に強い法曹の育成を目指し、明石市、芦屋市、尼崎市、加古川市、三田市、西宮市と「公務法曹養成のための連携協定」を締結しています。本学の授業に自治体職員も参加されるなど、さまざまな交流を行っています。



加古川市との覚書締結

POINT

3 先生・先輩が“近い”

関学ロースクールは教員の熱心さ、学生との距離の近さに自信があります。授業外であっても、起案添削や学習相談等、1対1で徹底的に指導します。OB・OGも非常に協力的で、学習サポートプログラムを通じて、後輩の学修を全面サポートします。



本学OBによる指導

POINT

5 法曹実務が“近い”



模擬裁判の風景

本学では、正課・正課外のさまざまな実習を通して実務と接する機会を設けています。正課科目として開講している「エクスターンシップ」では、学生が法律事務所や自治体の法務部門に赴き、弁護士の傍らに付き添って学びます。また、授業がない夏休みを活用して、本学実務家教員が勤務する弁護士事務所へのサマークラーク派遣を積極的に実施しています。ロースクールでの経験を通して、理想の法曹像を見つけてください。

POINT

6 企業が“近い”



企業交流会(個別ブースでの相談の様子)

在学生・修了生の多様なキャリア形成をサポートするため、学生が企業に接する機会を積極的に提供しています。具体的には、企業の法務部門を訪問して実際の業務を経験する「実践型インターンシップ」や、企業の採用担当者を招待し、企業法務に関する説明会および採用担当者との懇談会を実施する「企業交流会」などがあります。

施設紹介

キャンパス内の施設が充実しています。

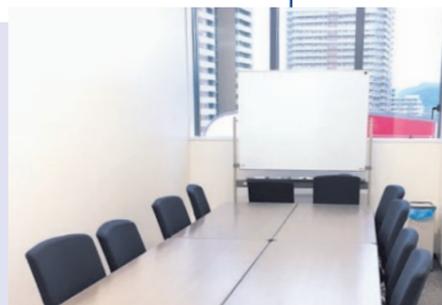
西宮北口キャンパスでは、7階、8階、9階がロースクール専用のフロアになります。7階は主に事務室と教員研究室、8階が各教室と資料室、9階にはロースクール生の自習室や、休憩するためのラウンジがあります。各フロアへ入室するにはカードキーが必要であり、セキュリティにも万全を期しています。

7F



ロースクール事務室

履修登録等の各種手続きの窓口です。事務室からのお知らせはすべて教学Webサービス(オンライン掲示板)を通して在学生に案内しています。授業や生活面での不安や疑問なども、ご相談ください。



面談室

教員やカウンセラーとの相談や面談の際に使用します。本研究科は教員のきめ細やかなサポートが特徴で、面談の機会が多いため、2室を準備しています。



教務補佐室

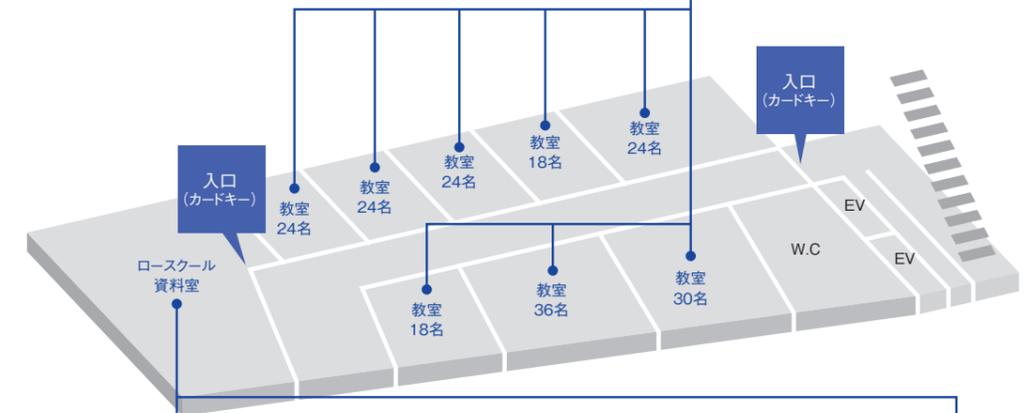
授業運営や資料準備を専属で担当する教務補佐がいます。科目によっては、授業資料の配布等も行っています。

8F



教室

大小合わせて8室があり、ロースクールの主な授業はこれらの教室で行います。



ロースクール資料室

法に関わる図書資料・雑誌など、自学自習をサポートする専門情報を豊富に整備。データベース検索用のパソコンも設置しており、法令集や判例集などの資料を電子メディアで閲覧することが可能です。また、大学図書館(他キャンパス)所蔵図書を取り寄せることができます。



コピー室

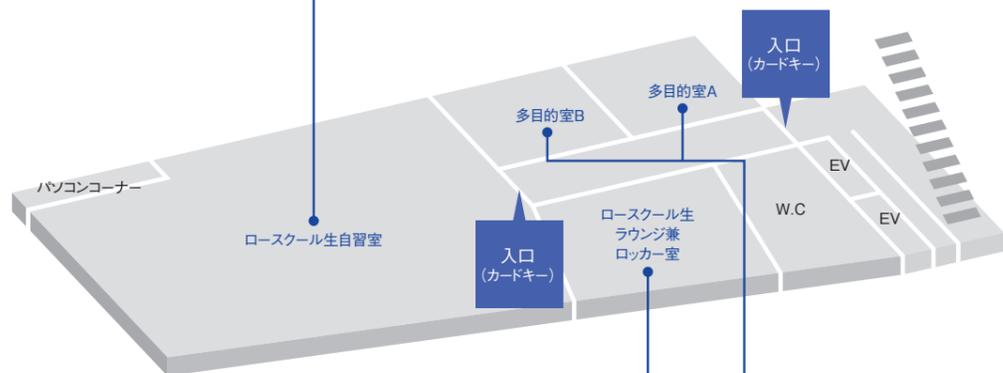
資料室に併設されています。資料の印刷や製本をすることができます。在学生にはコピーカードの補助があります。



1人に1キャレル
 在学中は学生一人ひとりに専用のキャレルを貸与。自習スペースの確保を心配する必要がありません。司法試験に合格した先輩たちもキャレルを最大限活用していました。

ロースクール生自習室

自習室には独立型自習机(キャレル)やプリンタが設置されており、授業の予習・復習をはじめ、学修を進めるうえで、集中して取り組める環境になっています。調べものには、同室内パソコンコーナーや8階資料室を活用するとよりスムーズに学びを進めることができます。



ラウンジ

ロースクール生が食事や休憩の際に利用できる共用スペースです。電子レンジやポットを設置しています。また、一人にひとつ貸与する個人ロッカーも同じエリアに設置しています。



ロッカー
 ロースクールの学生一人ひとりに、施設可能なロッカーを貸与。上着や資料などの私物を収納することができます。



多目的室

多目的室はA・Bの2室あり、主に小グループでのゼミナールや勉強会などの用途で利用されています。

※ 新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、各キャンパスの使用を制限させていただく場合があります。

西宮上ヶ原キャンパスの共同利用施設

大学図書館



ロースクール生の学修に関連する図書・資料は、司法研究科資料室に加えて、大学図書館にも所蔵されています。大学図書館は、地上3階地下2階の大空間、約150万冊を超える蔵書数、座席数約1,780席があり、広いスペースでゆったり学修できる環境を整えています。また、高度情報化社会に対応する最先端設備も整備。国内外のデータベースやインターネットにアクセスすることが可能です。法学部資料室にも関連図書・資料が豊富にあり、利用が可能です。

大学図書館

<https://library.kwansei.ac.jp/>



模擬法廷



通常の法廷設備に加え、裁判員席を備えており、裁判員裁判の実習も可能です。また、記録・配信用に5台のカメラを設置。刑事裁判で採用されているビデオリンク方式の証人尋問にも対応できる設備を整えています。

学生支援相談室



学生生活でのさまざまな悩みや問題に直面した場合、学生支援相談室の専任職員・カウンセラーとの面談が可能です(西宮北口キャンパスでは、毎週水曜日に相談可能)。

学生活動支援機構(学生支援相談室担当部署)

<https://www.kwansei.ac.jp/students>



入試情報

- オープンキャンパス・入試説明会 — 入試相談会を学内外で実施します。詳細は決定次第ホームページでお知らせします。
- 過去の入試問題について — ホームページからダウンロードすることができます。
- 入試要項について — 6月上旬に発行予定(各種入試説明会などで配布します。ホームページからの資料請求も可能です。)

【2022年度 入学試験の概要】

A日程 【試験日】 8月7日(土)・8日(日) 【入試形態】 一般入試 5年一貫型入試*1 開放型入試*1 【出願資格】 早期卒業見込者・卒業見込者・既卒者 【募集人員】 法学既修者.....20名 法学未修者.....10名 (入試全日程の合計) 【試験会場】*2 本学(西宮)、東京、岡山、福岡	出願期間 2021年 7月13日(火)～ 7月27日(火) [消印有効]	合格発表 2021年 8月13日(金) 入学手続I 合格発表日～ 2021年8月27日(金) 入学手続II 2022年3月11日(金)	入学前学習サポート 31p 履修免除試験 *3 関西学院大学ロースクール入学	一般入試 早期卒業見込者試験 <table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>試験時間</th><th>配点</th></tr> <tr><td>民法</td><td>120分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>商法</td><td>80分</td><td>50点</td></tr> <tr><td>憲法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>刑法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>筆記総点</td><td>-</td><td>350点</td></tr> <tr><td>学部成績</td><td>-</td><td>200点</td></tr> <tr><td>面接</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>特性・加点</td><td>-</td><td>10点**</td></tr> <tr><td>総点</td><td>-</td><td>550点</td></tr> </table>	評価項目	試験時間	配点	民法	120分	100点	商法	80分	50点	憲法	80分	100点	刑法	80分	100点	筆記総点	-	350点	学部成績	-	200点	面接	-	-	特性・加点	-	10点**	総点	-	550点	一般入試 卒業見込者試験 <table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>試験時間</th><th>配点</th></tr> <tr><td>民法</td><td>120分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>商法</td><td>80分</td><td>50点</td></tr> <tr><td>憲法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>刑法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>筆記総点</td><td>-</td><td>350点</td></tr> <tr><td>学部成績</td><td>-</td><td>100点</td></tr> <tr><td>面接</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>特性・加点</td><td>-</td><td>10点**</td></tr> <tr><td>総点</td><td>-</td><td>450点</td></tr> </table>	評価項目	試験時間	配点	民法	120分	100点	商法	80分	50点	憲法	80分	100点	刑法	80分	100点	筆記総点	-	350点	学部成績	-	100点	面接	-	-	特性・加点	-	10点**	総点	-	450点	一般入試 既卒者試験 <table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>試験時間</th><th>配点</th></tr> <tr><td>民法</td><td>120分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>商法</td><td>80分</td><td>50点</td></tr> <tr><td>憲法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>刑法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>筆記総点</td><td>-</td><td>350点</td></tr> <tr><td>学部成績</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>面接</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>特性・加点</td><td>-</td><td>10点**</td></tr> <tr><td>総点</td><td>-</td><td>350点</td></tr> </table>	評価項目	試験時間	配点	民法	120分	100点	商法	80分	50点	憲法	80分	100点	刑法	80分	100点	筆記総点	-	350点	学部成績	-	-	面接	-	-	特性・加点	-	10点**	総点	-	350点	開放型入試 <table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>試験時間</th><th>配点</th></tr> <tr><td>民法</td><td>120分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>商法</td><td>80分</td><td>50点</td></tr> <tr><td>憲法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>刑法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>筆記総点</td><td>-</td><td>300点**</td></tr> <tr><td>学部成績</td><td>-</td><td>250点</td></tr> <tr><td>面接</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>特性・加点</td><td>-</td><td>10点**</td></tr> <tr><td>総点</td><td>-</td><td>550点</td></tr> </table>	評価項目	試験時間	配点	民法	120分	100点	商法	80分	50点	憲法	80分	100点	刑法	80分	100点	筆記総点	-	300点**	学部成績	-	250点	面接	-	-	特性・加点	-	10点**	総点	-	550点
	評価項目	試験時間		配点																																																																																																																											
	民法	120分		100点																																																																																																																											
	商法	80分		50点																																																																																																																											
憲法	80分	100点																																																																																																																													
刑法	80分	100点																																																																																																																													
筆記総点	-	350点																																																																																																																													
学部成績	-	200点																																																																																																																													
面接	-	-																																																																																																																													
特性・加点	-	10点**																																																																																																																													
総点	-	550点																																																																																																																													
評価項目	試験時間	配点																																																																																																																													
民法	120分	100点																																																																																																																													
商法	80分	50点																																																																																																																													
憲法	80分	100点																																																																																																																													
刑法	80分	100点																																																																																																																													
筆記総点	-	350点																																																																																																																													
学部成績	-	100点																																																																																																																													
面接	-	-																																																																																																																													
特性・加点	-	10点**																																																																																																																													
総点	-	450点																																																																																																																													
評価項目	試験時間	配点																																																																																																																													
民法	120分	100点																																																																																																																													
商法	80分	50点																																																																																																																													
憲法	80分	100点																																																																																																																													
刑法	80分	100点																																																																																																																													
筆記総点	-	350点																																																																																																																													
学部成績	-	-																																																																																																																													
面接	-	-																																																																																																																													
特性・加点	-	10点**																																																																																																																													
総点	-	350点																																																																																																																													
評価項目	試験時間	配点																																																																																																																													
民法	120分	100点																																																																																																																													
商法	80分	50点																																																																																																																													
憲法	80分	100点																																																																																																																													
刑法	80分	100点																																																																																																																													
筆記総点	-	300点**																																																																																																																													
学部成績	-	250点																																																																																																																													
面接	-	-																																																																																																																													
特性・加点	-	10点**																																																																																																																													
総点	-	550点																																																																																																																													
B日程 【試験日】 9月11日(土)・12日(日) 【入試形態】 一般入試、特別入試 【出願資格】 早期卒業見込者・卒業見込者・既卒者 【募集人員】 法学既修者.....20名 法学未修者.....10名 (入試全日程の合計) 【試験会場】 本学(西宮)、岡山、福岡	出願期間 2021年 8月17日(火)～ 8月31日(火) [消印有効]	合格発表 2021年 9月17日(金) 入学手続I 合格発表日～ 2021年10月1日(金) 入学手続II 2022年3月11日(金)	入学前学習サポート 31p 履修免除試験 *3 関西学院大学ロースクール入学	一般入試 早期卒業見込者試験 <table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>試験時間</th><th>配点</th></tr> <tr><td>民法</td><td>120分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>商法</td><td>80分</td><td>50点</td></tr> <tr><td>憲法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>刑法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>筆記総点</td><td>-</td><td>350点</td></tr> <tr><td>学部成績</td><td>-</td><td>200点</td></tr> <tr><td>面接</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>特性・加点</td><td>-</td><td>10点**</td></tr> <tr><td>総点</td><td>-</td><td>550点</td></tr> </table>	評価項目	試験時間	配点	民法	120分	100点	商法	80分	50点	憲法	80分	100点	刑法	80分	100点	筆記総点	-	350点	学部成績	-	200点	面接	-	-	特性・加点	-	10点**	総点	-	550点	一般入試 卒業見込者試験 <table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>試験時間</th><th>配点</th></tr> <tr><td>民法</td><td>120分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>商法</td><td>80分</td><td>50点</td></tr> <tr><td>憲法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>刑法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>筆記総点</td><td>-</td><td>350点</td></tr> <tr><td>学部成績</td><td>-</td><td>100点</td></tr> <tr><td>面接</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>特性・加点</td><td>-</td><td>10点**</td></tr> <tr><td>総点</td><td>-</td><td>450点</td></tr> </table>	評価項目	試験時間	配点	民法	120分	100点	商法	80分	50点	憲法	80分	100点	刑法	80分	100点	筆記総点	-	350点	学部成績	-	100点	面接	-	-	特性・加点	-	10点**	総点	-	450点	一般入試 既卒者試験 <table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>試験時間</th><th>配点</th></tr> <tr><td>民法</td><td>120分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>商法</td><td>80分</td><td>50点</td></tr> <tr><td>憲法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>刑法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>筆記総点</td><td>-</td><td>350点</td></tr> <tr><td>学部成績</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>面接</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>特性・加点</td><td>-</td><td>10点**</td></tr> <tr><td>総点</td><td>-</td><td>350点</td></tr> </table>	評価項目	試験時間	配点	民法	120分	100点	商法	80分	50点	憲法	80分	100点	刑法	80分	100点	筆記総点	-	350点	学部成績	-	-	面接	-	-	特性・加点	-	10点**	総点	-	350点	特別入試 <table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>試験時間</th><th>配点</th></tr> <tr><td>論文</td><td>90分</td><td>200点</td></tr> <tr><td>面接</td><td>1人約15分</td><td>50点</td></tr> <tr><td>特性評価</td><td>-</td><td>50点</td></tr> <tr><td>総点</td><td>-</td><td>300点</td></tr> </table>	評価項目	試験時間	配点	論文	90分	200点	面接	1人約15分	50点	特性評価	-	50点	総点	-	300点															
	評価項目	試験時間		配点																																																																																																																											
	民法	120分		100点																																																																																																																											
	商法	80分		50点																																																																																																																											
憲法	80分	100点																																																																																																																													
刑法	80分	100点																																																																																																																													
筆記総点	-	350点																																																																																																																													
学部成績	-	200点																																																																																																																													
面接	-	-																																																																																																																													
特性・加点	-	10点**																																																																																																																													
総点	-	550点																																																																																																																													
評価項目	試験時間	配点																																																																																																																													
民法	120分	100点																																																																																																																													
商法	80分	50点																																																																																																																													
憲法	80分	100点																																																																																																																													
刑法	80分	100点																																																																																																																													
筆記総点	-	350点																																																																																																																													
学部成績	-	100点																																																																																																																													
面接	-	-																																																																																																																													
特性・加点	-	10点**																																																																																																																													
総点	-	450点																																																																																																																													
評価項目	試験時間	配点																																																																																																																													
民法	120分	100点																																																																																																																													
商法	80分	50点																																																																																																																													
憲法	80分	100点																																																																																																																													
刑法	80分	100点																																																																																																																													
筆記総点	-	350点																																																																																																																													
学部成績	-	-																																																																																																																													
面接	-	-																																																																																																																													
特性・加点	-	10点**																																																																																																																													
総点	-	350点																																																																																																																													
評価項目	試験時間	配点																																																																																																																													
論文	90分	200点																																																																																																																													
面接	1人約15分	50点																																																																																																																													
特性評価	-	50点																																																																																																																													
総点	-	300点																																																																																																																													
C日程 【試験日】 1月15日(土)・16日(日) 【入試形態】 一般入試 開放型入試*1 特別入試 【出願資格】 早期卒業見込者・卒業見込者・既卒者 【募集人員】 法学既修者.....20名 法学未修者.....10名 (入試全日程の合計) 【試験会場】 本学(西宮)、東京	出願期間 2021年 12月14日(火)～ 2022年 1月5日(水) [消印有効]	合格発表 2022年 1月21日(金) 入学手続I 合格発表日～ 2022年2月4日(金) 入学手続II 2022年3月11日(金)	入学前学習サポート 31p 履修免除試験 *3 関西学院大学ロースクール入学	一般入試 早期卒業見込者試験 <table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>試験時間</th><th>配点</th></tr> <tr><td>民法</td><td>120分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>商法</td><td>80分</td><td>50点</td></tr> <tr><td>憲法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>刑法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>筆記総点</td><td>-</td><td>350点</td></tr> <tr><td>学部成績</td><td>-</td><td>200点</td></tr> <tr><td>面接</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>特性・加点</td><td>-</td><td>10点**</td></tr> <tr><td>総点</td><td>-</td><td>550点</td></tr> </table>	評価項目	試験時間	配点	民法	120分	100点	商法	80分	50点	憲法	80分	100点	刑法	80分	100点	筆記総点	-	350点	学部成績	-	200点	面接	-	-	特性・加点	-	10点**	総点	-	550点	一般入試 卒業見込者試験 <table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>試験時間</th><th>配点</th></tr> <tr><td>民法</td><td>120分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>商法</td><td>80分</td><td>50点</td></tr> <tr><td>憲法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>刑法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>筆記総点</td><td>-</td><td>350点</td></tr> <tr><td>学部成績</td><td>-</td><td>100点</td></tr> <tr><td>面接</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>特性・加点</td><td>-</td><td>10点**</td></tr> <tr><td>総点</td><td>-</td><td>450点</td></tr> </table>	評価項目	試験時間	配点	民法	120分	100点	商法	80分	50点	憲法	80分	100点	刑法	80分	100点	筆記総点	-	350点	学部成績	-	100点	面接	-	-	特性・加点	-	10点**	総点	-	450点	一般入試 既卒者試験 <table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>試験時間</th><th>配点</th></tr> <tr><td>民法</td><td>120分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>商法</td><td>80分</td><td>50点</td></tr> <tr><td>憲法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>刑法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>筆記総点</td><td>-</td><td>350点</td></tr> <tr><td>学部成績</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>面接</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>特性・加点</td><td>-</td><td>10点**</td></tr> <tr><td>総点</td><td>-</td><td>350点</td></tr> </table>	評価項目	試験時間	配点	民法	120分	100点	商法	80分	50点	憲法	80分	100点	刑法	80分	100点	筆記総点	-	350点	学部成績	-	-	面接	-	-	特性・加点	-	10点**	総点	-	350点	開放型入試 <table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>試験時間</th><th>配点</th></tr> <tr><td>民法</td><td>120分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>商法</td><td>80分</td><td>50点</td></tr> <tr><td>憲法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>刑法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>筆記総点</td><td>-</td><td>300点**</td></tr> <tr><td>学部成績</td><td>-</td><td>250点</td></tr> <tr><td>面接</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>特性・加点</td><td>-</td><td>10点**</td></tr> <tr><td>総点</td><td>-</td><td>550点</td></tr> </table>	評価項目	試験時間	配点	民法	120分	100点	商法	80分	50点	憲法	80分	100点	刑法	80分	100点	筆記総点	-	300点**	学部成績	-	250点	面接	-	-	特性・加点	-	10点**	総点	-	550点
	評価項目	試験時間		配点																																																																																																																											
	民法	120分		100点																																																																																																																											
	商法	80分		50点																																																																																																																											
憲法	80分	100点																																																																																																																													
刑法	80分	100点																																																																																																																													
筆記総点	-	350点																																																																																																																													
学部成績	-	200点																																																																																																																													
面接	-	-																																																																																																																													
特性・加点	-	10点**																																																																																																																													
総点	-	550点																																																																																																																													
評価項目	試験時間	配点																																																																																																																													
民法	120分	100点																																																																																																																													
商法	80分	50点																																																																																																																													
憲法	80分	100点																																																																																																																													
刑法	80分	100点																																																																																																																													
筆記総点	-	350点																																																																																																																													
学部成績	-	100点																																																																																																																													
面接	-	-																																																																																																																													
特性・加点	-	10点**																																																																																																																													
総点	-	450点																																																																																																																													
評価項目	試験時間	配点																																																																																																																													
民法	120分	100点																																																																																																																													
商法	80分	50点																																																																																																																													
憲法	80分	100点																																																																																																																													
刑法	80分	100点																																																																																																																													
筆記総点	-	350点																																																																																																																													
学部成績	-	-																																																																																																																													
面接	-	-																																																																																																																													
特性・加点	-	10点**																																																																																																																													
総点	-	350点																																																																																																																													
評価項目	試験時間	配点																																																																																																																													
民法	120分	100点																																																																																																																													
商法	80分	50点																																																																																																																													
憲法	80分	100点																																																																																																																													
刑法	80分	100点																																																																																																																													
筆記総点	-	300点**																																																																																																																													
学部成績	-	250点																																																																																																																													
面接	-	-																																																																																																																													
特性・加点	-	10点**																																																																																																																													
総点	-	550点																																																																																																																													
D日程 【試験日】 2月19日(土)・20日(日) 【入試形態】 一般入試 【出願資格】 早期卒業見込者・卒業見込者・既卒者 【募集人員】 法学既修者.....20名 法学未修者.....10名 (入試全日程の合計) 【試験会場】 本学(西宮)	出願期間 2022年 1月25日(火)～ 2月8日(火) [消印有効]	合格発表 2022年 2月25日(金) 入学手続I・II 合格発表日～ 2022年3月11日(金)	入学前学習サポート 31p 履修免除試験 *3 関西学院大学ロースクール入学	一般入試 早期卒業見込者試験 <table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>試験時間</th><th>配点</th></tr> <tr><td>民法</td><td>120分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>商法</td><td>80分</td><td>50点</td></tr> <tr><td>憲法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>刑法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>筆記総点</td><td>-</td><td>350点</td></tr> <tr><td>学部成績</td><td>-</td><td>200点</td></tr> <tr><td>面接</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>特性・加点</td><td>-</td><td>10点**</td></tr> <tr><td>総点</td><td>-</td><td>550点</td></tr> </table>	評価項目	試験時間	配点	民法	120分	100点	商法	80分	50点	憲法	80分	100点	刑法	80分	100点	筆記総点	-	350点	学部成績	-	200点	面接	-	-	特性・加点	-	10点**	総点	-	550点	一般入試 卒業見込者試験 <table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>試験時間</th><th>配点</th></tr> <tr><td>民法</td><td>120分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>商法</td><td>80分</td><td>50点</td></tr> <tr><td>憲法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>刑法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>筆記総点</td><td>-</td><td>350点</td></tr> <tr><td>学部成績</td><td>-</td><td>100点</td></tr> <tr><td>面接</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>特性・加点</td><td>-</td><td>10点**</td></tr> <tr><td>総点</td><td>-</td><td>450点</td></tr> </table>	評価項目	試験時間	配点	民法	120分	100点	商法	80分	50点	憲法	80分	100点	刑法	80分	100点	筆記総点	-	350点	学部成績	-	100点	面接	-	-	特性・加点	-	10点**	総点	-	450点	一般入試 既卒者試験 <table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>試験時間</th><th>配点</th></tr> <tr><td>民法</td><td>120分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>商法</td><td>80分</td><td>50点</td></tr> <tr><td>憲法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>刑法</td><td>80分</td><td>100点</td></tr> <tr><td>筆記総点</td><td>-</td><td>350点</td></tr> <tr><td>学部成績</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>面接</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>特性・加点</td><td>-</td><td>10点**</td></tr> <tr><td>総点</td><td>-</td><td>350点</td></tr> </table>	評価項目	試験時間	配点	民法	120分	100点	商法	80分	50点	憲法	80分	100点	刑法	80分	100点	筆記総点	-	350点	学部成績	-	-	面接	-	-	特性・加点	-	10点**	総点	-	350点	特別入試 <table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>試験時間</th><th>配点</th></tr> <tr><td>論文</td><td>90分</td><td>200点</td></tr> <tr><td>面接</td><td>1人約15分</td><td>50点</td></tr> <tr><td>特性評価</td><td>-</td><td>50点</td></tr> <tr><td>総点</td><td>-</td><td>300点</td></tr> </table>	評価項目	試験時間	配点	論文	90分	200点	面接	1人約15分	50点	特性評価	-	50点	総点	-	300点															
	評価項目	試験時間		配点																																																																																																																											
	民法	120分		100点																																																																																																																											
	商法	80分		50点																																																																																																																											
憲法	80分	100点																																																																																																																													
刑法	80分	100点																																																																																																																													
筆記総点	-	350点																																																																																																																													
学部成績	-	200点																																																																																																																													
面接	-	-																																																																																																																													
特性・加点	-	10点**																																																																																																																													
総点	-	550点																																																																																																																													
評価項目	試験時間	配点																																																																																																																													
民法	120分	100点																																																																																																																													
商法	80分	50点																																																																																																																													
憲法	80分	100点																																																																																																																													
刑法	80分	100点																																																																																																																													
筆記総点	-	350点																																																																																																																													
学部成績	-	100点																																																																																																																													
面接	-	-																																																																																																																													
特性・加点	-	10点**																																																																																																																													
総点	-	450点																																																																																																																													
評価項目	試験時間	配点																																																																																																																													
民法	120分	100点																																																																																																																													
商法	80分	50点																																																																																																																													
憲法	80分	100点																																																																																																																													
刑法	80分	100点																																																																																																																													
筆記総点	-	350点																																																																																																																													
学部成績	-	-																																																																																																																													
面接	-	-																																																																																																																													
特性・加点	-	10点**																																																																																																																													
総点	-	350点																																																																																																																													
評価項目	試験時間	配点																																																																																																																													
論文	90分	200点																																																																																																																													
面接	1人約15分	50点																																																																																																																													
特性評価	-	50点																																																																																																																													
総点	-	300点																																																																																																																													

*1 「5年一貫型入試」および「開放型入試」は、同一入試日程で実施する一般入試と併願することが可能です。詳細は6月上旬発行予定の入試要項をご確認ください。

*2 「5年一貫型入試」は本学(西宮)会場のみ実施します。

*3 「履修免除試験」A・B・C日程入試(法学既修者)合格者およびD日程入試(法学既修者)受験者のうち、希望者は履修免除試験を受験できます。法学未修者での入学予定者は履修免除の対象外です。

(単位:人)

2021年度 入学試験状況	A日程				B日程				C日程				D日程				入学者
	募集人員	出願者	受験者	合格者													
一般入試(法学既修者)	18	56	51	21	8	14	14	3	4	16	16	1	若干名	12	10	2	10
一般入試(法学未修者)		45	42	23		17	17	7		9	6	2		6	4	1	17
特別入試(法学未修者)					若干名	1	1	0	若干名	1	1	0					0
延人数	18	101	93	44	8	32	32	10	4	26	23	3	若干名	18	14	3	27

* 入学者のみ実人数(入学手続II完了者)を記載

*4 資格能力加点…司法試験予備試験短答式合格、法学検定試験アドバンスト<上級>合格

*5 語学能力加点…英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語、韓国語

*6 開放型試験の筆記試験は、合計350点を300点満点に換算して評価する。

(単位:人)

2020年度 入学試験状況	A日程				B日程				C日程				D日程				入学者
	募集人員	出願者	受験者	合格者													
一般入試(法学既修者)	18	57	56	22	8	28	24	2	4	29	23	1	若干名	22	16	3	14
一般入試(法学未修者)		55	52	32		22	20	5		13	12	2		12	6	0	22
特別入試(法学未修者)					若干名	2	2	0	若干名	1	1	1					0
延人数	18	112	108	54	8	52	46	7	4	43	36	4	若干名	34	22	3	36

* 入学者のみ実人数を記載

学費・奨学金

学費・その他の諸費（2021年度入学生）

2022年度入学生学費・その他の諸費は未定です。決定次第本研究所ホームページでお知らせします。

(単位:円)

	年 額		
	初年度	2年目	3年目
入学金	200,000	—	—
授業料	1,055,000	1,145,000	1,145,000
教育充実費	225,000	225,000	225,000
その他諸費	5,000	3,000	3,000
合 計	1,485,000	1,373,000	1,373,000

- 学費・その他の諸費は2期(春・秋)に分けて半額ずつの納入となります。
- 本学の学部あるいは大学院博士課程前期課程または修士課程から、ロースクールに入学した者は、入学金が半額免除されます。
- やむを得ない事由で学費を期日までに納入できない場合のために、学費の延納制度があります。

単位制学費

標準修業年限(既修者2年間、未修者3年間)を超えた方を対象に、以降の学費については、履修した単位数に応じて授業料を支払う「単位制学費」制度を導入しています。なお、休学期間は標準修業年限に含まれません。

日本学生支援機構奨学金（貸与）

- 資格:優れた学生であって経済的理由により修学に困難がある者。(日本学生支援機構)
- 採用人数:日本学生支援機構からの内示による。
- 採用期限:原則、標準修業年限内。(1年ごとに継続審査あり)

※ 機構一種、二種および本学法科大学院支給奨学金との併用受給も可能。
 ※ 年1回の奨学金継続願を提出しなければならない。

貸与奨学金概要

	家計基準	貸与額	利子
一種	収入基準 前年の本人収入が 299万円 以下であること。	奨学金額 以下の貸与月額から選択 ■ 50,000円 ■ 88,000円	無利子
二種	収入基準 前年の本人収入が 536万円 以下であること。	奨学金額 以下の貸与月額から選択 ■ 50,000円 ■ 80,000円 ■ 100,000円 ■ 130,000円 ■ 150,000円	有利子

※ 本人収入とは:出願者本人が得た収入のこと(アルバイト収入、父母等からの給付、奨学金等)

関西学院大学法科大学院支給奨学金

標準修業年限内はすべての学生に奨学金が支給されます。

皆さんの実質学費負担額は、国立大学ロースクールの学費相当かそれ以下になります。

- 春学期と秋学期2回に分けて半額ずつ支給します(入学支給は、入学初年度のみ支給)。
- 特別支給、第1種支給は、1年ごとに支給継続の審査があります(成績不良の場合は継続不可)。
- いずれの奨学金も、標準修業年限を超えた時点で支給は停止され、採用の対象外となります。
- A日程特別支給と入学支給の場合を除き、採用される法科大学院支給奨学金は1つです。
- 大学早期卒業者(飛び級を含む)がA日程入試(法学未修者)で入学した場合、入学初年度の支給継続の審査を免除します。**
(進級不可の場合は継続不可)

支給奨学金概要

種類	金額	内容	種類	金額	内容
入学支給	200,000円 <small>(開学出身者以外)</small>	入学金相当額	第1種支給	640,000円	学費半額相当額
	100,000円 <small>(開学出身者)</small>		第2種支給	640,000円	学費半額相当額
特別支給	1,280,000円	学費全額相当額	第3種支給	476,000円	学費全額から国立大学ロースクール学費との差額相当額

※2021年度初年度学費を基にした実績

	採用人数	各自の実質負担金額(初年度)	採用期間	
入学時採用	A日程 入学支給 特別支給	合格者全員 ■ 一般入試 ■ 5年一貫型入試 ■ 開放型入試	入学金(200,000円) + 学費・その他諸費(1,285,000円) - [入学支給(200,000円) + 特別支給(1,280,000円)] = 負担金 5,000円	標準修業年限内 未修:3年間 既修:2年間 1年ごとに支給継続の審査があります。
	B・C・D日程 特別支給	■ 開放型入試(CH日程入試) 2名程度 ■ 一般入試(B・C・D日程入試) B・C・D合わせて 2名程度	入学金(200,000円) + 学費・その他諸費(1,285,000円) - [特別支給(1,280,000円)] = 負担金 205,000円	
	第1種支給	■ 一般入試(B・C・D日程入試) B・C・D合わせて 4名程度	入学金(200,000円) + 学費・その他諸費(1,285,000円) - [第1種支給・第2種支給(640,000円)] = 負担金 845,000円	
在学中採用	在学学生 第2種支給	2名程度 入学年度春学期成績、2年次以降前年度成績でそれぞれ選考します。	入学金(200,000円) + 学費・その他諸費(1,285,000円) - [第3種支給(476,000円)] = 負担金 1,009,000円	標準修業年限内 当該年度のみ(毎年選考)
	第3種支給	上記いずれの支給奨学金にも採用されなかった方(ただし、標準修業年限を超えた者は除く)	入学金(200,000円) + 学費・その他諸費(1,285,000円) - [第3種支給(476,000円)] = 負担金 1,009,000円	標準修業年限内

※ 次年度以降の奨学金額は授業料の額によって変動します。

3年間の学び

本学では確固たる基礎学力を身につけることを重視しています。基礎学力が不十分な状態では発展的な学力が身につかないことはいうまでもありませんが、司法試験についても基礎学力が確立されているか否かが合否を分けると考えているからです。そのため、本学のカリキュラムは基礎から発展へと段階的に実力を伸ばせるように組み立てられているほか、正課外のさまざまな学習サポートプログラムを学生が積極的に活用することにより、正課と正課外の相乗効果で、学生個々人が着実に実力を伸ばせるようにしています。^{※1}

入学前

入学準備期 入学前学習サポート 31p

1年生

〈未修者コース1年目〉

基礎力養成期

☑ 法律の基本的知識を修得

各科目群の目標

- 法律基本科目群
基本六法の基本的な知識習得。
- 基礎法学・隣接科目群
幅広い教養と豊かな人間性の涵養。



基礎演習 少人数ゼミによる導入教育。

2年生

〈既修者コース1年目〉
〈未修者コース2年目〉

基礎力充実期

- ☑ 法律基本科目の発展
- ☑ 実務基礎科目を学修

各科目群の目標

- 法律基本科目群
演習科目を必修とし、双方向のケースメソッドで学修することにより、理解をより深める。
- 実務基礎科目群
実務教育の導入部分。実務基礎の習得を図る。
- 展開・先端科目群
法曹としてどのようなフィールドに進むのかの発見や、すでに関心のある専門領域の基礎的教育を行う。



3年生

〈既修者コース2年目〉
〈未修者コース3年目〉

発展的学修期

☑ 各領域の学修と総合的、横断的な学修を実践。

各科目群の目標

- 法律基本科目群
高度な事例を用いて演習形式で学修し、発展的な学力を養成する。
- 実務基礎科目群
確実な実務基礎の修得を図る。より実践的な実務科目を通して、実務的感覚を体得する。
- 展開・先端科目群
将来の志望を意識した選択履修により、理解を深める。
- 特別演習科目群
少人数ゼミを通して、思考力、論理力、表現力などを養成する。



専門職学位(法務博士)取得

司法試験合格^{※2}

法曹三者

法務スペシャリスト
(企業法務・公務員)

^{※2} 司法試験を在学中に受験した場合、学位取得前の合格となることがあります。

修了生サポート

関学ロースクールでは、修了後も皆さんが継続して学修できるようさまざまな制度でサポートします。また、皆さんの多様なキャリア形成を支援するべく、就職活動支援も積極的に実施しています。

■ 研修員制度・施設利用 ^{※詳細は33pを参照ください。}

本学を修了後、本学の教育研究諸施設を利用して学修を継続することができます。研修員として利用可能なのは以下のとおりです。(2021年4月1日現在)

- 自習室(個人キャレル)の継続利用
- 個人ロッカーの継続利用
- 教育研究システムの利用
- ロースクールの教室の利用

■ 就職活動支援 ^{※詳細は34pを参照ください。}

将来の自分のキャリア形成について、専任のコンサルタントと1対1で相談できる「キャリアコンサルティング」や、企業の法務部門を一定期間訪問し、実務を経験することができる「インターンシップ」など、さまざまなプログラムを備えています。

- キャリアコンサルティング
- キャリアガイダンス
- インターンシップ、サマークラーク
- 企業交流会

■ 学習サポート ^{※詳細は33pを参照ください。}

修了生も、在学生と同様にさまざまな学習サポートを受講することができます。さらに、遠方で通学が不便な学生を対象とした「土曜ゼミ通信添削型」など、修了生をメインとしたプログラムも備えています。

学習サポート

1年生

■ 教学補佐制度

3年生または2年生が教学補佐となり、未修者の学修をサポート。

2・3年生

■ 土曜ゼミ(自主ゼミサポート型)

学生同士の自主的なグループ学習をOB・OG講師がきめ細やかにサポート。

■ 土曜ゼミ(講座型)

OB・OGが正課授業と連動した起案課題等の作成をサポート。

■ 模擬司法試験

実践的な模擬試験を実施。司法試験と同じ環境で、自己の実力を知ることができる。加えて、添削者の細やかな評価のフィードバックを受けて自分の強みや弱みの整理が可能に。



^{※1} 「司法試験在学中受験」にも対応したカリキュラムとなっています。ただし、在学中受験を希望する場合、一定の要件を満たす必要があります。

カリキュラム

◆ 2021年度カリキュラム

太文字は必修

	法律基本科目	実務基礎科目	基礎法学・隣接科目	展開・先端科目	特別演習科目				
1年	<ul style="list-style-type: none"> 憲法I(人権論1) 憲法II(統治機構論) 憲法III(人権論2) 民法I(総則・物権) 民法II(債権各論) 民法III(債権総論) 民法IV(担保物権) 民法V(親族・相続) 商法入門 民事訴訟法 刑法I(刑法総論) 刑法II(刑法各論1) 刑法III(刑法各論2) 刑事訴訟法 	2 2 2 4 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2		<ul style="list-style-type: none"> 英米法総論 英米法各論 法哲学 法社会学 近代法の形成 公共政策論 経営学 会計学 簿記論 キリスト教と人権 	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	<ul style="list-style-type: none"> 基礎演習A 基礎演習B 憲法特講A 憲法特講B 憲法特講C 民法特講A 民法特講B 民法特講C 刑法特講A 刑法特講B 刑法特講C 	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
	<ul style="list-style-type: none"> 憲法演習 行政法I(行政救済法) 行政法II(行政法総論) 民法演習I(総則・物権) 民法演習II(債権) 会社法 会社法演習 民事訴訟法演習I(第一審判決手続) 刑法演習 刑事訴訟法演習 商行為法・手形小切手法 	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	<ul style="list-style-type: none"> 専門職責任(法曹倫理) 民事ローヤリングI 民事裁判実務 刑事裁判実務I(捜査と公判の交錯) エクスターンシップ 	2 2 2 2 2 2	<ul style="list-style-type: none"> 〈企業法務科目〉 労働法I(個別労働関係法) 経済法 税法 民事執行・保全法 倒産処理法I(破産手続) 倒産処理法II(倒産処理) 金融商品取引法 知的財産権法I(特許権) 知的財産権法II(著作権) 経済犯罪 経済法の基礎 企業法実務I(企業統治とリスク管理) 企業法実務II(ビジネス法務) 	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	<ul style="list-style-type: none"> 基礎演習C 基礎演習D 	2 2	
				<ul style="list-style-type: none"> 〈国際関係科目〉 国際法 国際人権法 国際私法 国際経済法 国際民事手続法 国際取引法 	2 2 2 2 2 2				
				<ul style="list-style-type: none"> 〈現代社会と法関係科目〉 現代正義論 司法制度論 生命倫理と法 医事関係訴訟 消費者法 少年法 ADR 犯罪学 ジェンダーと法 	2 2 2 2 2 2 2 2 2				
				<ul style="list-style-type: none"> 〈政策法務科目〉 地方自治法 社会保障法 自治体法務I(都市計画の法的課題) 自治体法務II(参加の法理論) 自治体行政法 自治体環境法 環境政策と法 立法演習 	2 2 2 2 2 2 2 2				
				<ul style="list-style-type: none"> 〈その他科目〉 リーガルピククス 	2				
	2年	<ul style="list-style-type: none"> 行政法演習 民事訴訟法演習II(上訴・複雑訴訟) 憲法総合演習 行政法総合演習 民法総合演習I(債権に関する諸問題) 民法総合演習II(総則・物権に関する諸問題) 商法総合演習 民事訴訟法総合演習 刑法総合演習 刑事訴訟法総合演習 	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	<ul style="list-style-type: none"> 民事ローヤリングII 刑事裁判実務II(証拠法と事実認定) 刑事模擬裁判 クリニック 	2 2 2 2	<ul style="list-style-type: none"> 〈企業法務科目〉 労働法II(労使関係法と労働争訟法) 労働法演習 経済法演習 税法演習 倒産処理法演習 知的財産権法演習I(特許権) 知的財産権法演習II(著作権) 	2 2 2 2 2 2 2	<ul style="list-style-type: none"> 特別演習A,B,C,D,E,F,G,H,I,J,K,L,M,N,O,P,Q,R,S,T 	2
					<ul style="list-style-type: none"> 〈国際関係科目〉 国際法演習 	2			
					<ul style="list-style-type: none"> 〈政策法務科目〉 公法実務I(裁判実務) 公法実務II(行政実務) 環境法演習 	2 2 2			
3年	<ul style="list-style-type: none"> 1年、2年、3年太文字全科目 58単位 必修 	<ul style="list-style-type: none"> 「民事ローヤリング」 「民事裁判実務」 「刑事裁判実務I」 「専門職責任(法曹倫理)」 	2単位 必修 2単位 必修 2単位 必修 2単位 必修						
	<ul style="list-style-type: none"> 「憲法総合演習または行政法総合演習」のうち2単位 「民法総合演習Iまたは民法総合演習II」のうち2単位 「刑法総合演習または刑事訴訟法総合演習」のうち2単位 合計6単位 選択必修 小計64単位 	<ul style="list-style-type: none"> 「エクスターンシップ、民事ローヤリングII、クリニック」の中から2単位 選択必修 「刑事裁判実務II、刑事模擬裁判」の中から2単位 選択必修 	2単位 選択必修 2単位 選択必修	6単位 選択	16単位 選択				
				全体より2単位 選択					
				合計100単位 以上					

表において1年、2年、3年は「履修基準年度」を示します。全ての授業科目は履修基準年度を設けており、履修基準年度で定められた学年以上の学生しか履修できません。したがって、例えば2年生の展開・先端科目に配置されている授業科目は、1年生は履修できませんが、2年生、3年生は履修できます。なお、法学未修者で入学した学生の入学時の学年は1年生、法学既修者で入学した学生の入学時の学年は2年生となります。
(履修単位数制限上限) 1年…42単位 2年…36単位* 3年…44単位
* 2年次の履修登録単位数は次のとおりとする。
①法学未修者…1年次から2年次に進級した者で、再履修が必要な法律基本科目の必修科目のうち履修基準年度1年の科目がある場合は、当該科目について4単位を上限として、36単位を超えて登録することができる。
②法学既修者…履修を免除されなかった法律基本科目の必修科目のうち履修基準年度1年の科目がある場合は、当該科目について4単位を上限として、36単位を超えて登録することができる。

5つの科目群について

法律基本科目

1年:実定法の基本的な知識の修得を目的としています。1年生では、個別法についての基本的な知識を習得します。

2年:各実定法の演習科目を必修科目とし、重要論点を双方向のケースメソッドなどで学修することにより、当該法律についての理解をより深めます。

3年:民事、刑事、公法の3分野に集約して、個別法の枠を超えた総合的な学修を行います。

基礎法学・隣接科目

幅広い教養と豊かな人間性を養います。本学ではこの科目群を重視することで、スクールモットーである“Mastery for service”を体現するとともに、国際的視野を持った法曹の養成を目指します。

特別演習科目

1年:少人数で行う演習科目で、1年生では導入教育を行います。

2年:双方向の議論を中心とし、少人数で行う演習科目です。

3年:思考力、論理力、表現力などの養成を目的に行う少人数制の演習科目です。

修了要件

- ①3年以上在学し、所定の授業科目について100単位以上を修得すること。
ただし法学既修者は、2年以上在学し、1年生の法律基本科目(34単位)を除く所定の単位を修得すること。
※ 入学前の履修免除試験により既修得単位として認定されなかった科目は、入学後に修得が必要。
- ②「法律基本科目群」および「実務基礎科目群」の両科目群における必修科目および選択必修科目のうち、単位を修得した科目のGPAが2.0以上であること。

進級要件

進級するためには、各学年において次の要件を満たさなければなりません。なお、要件を満たさない場合は、当該年度に履修した進級要件の対象となる授業科目のうち成績評価がB以上(100点満点の素点換算目安で70点以上)の科目のみ有効とし、C+以下(100点満点の素点換算目安で69点以下)の科目は無効となります。

1年生から2年生への進級に際して

- ▶ 「法律基本科目群」の必修科目のうち、履修基準年度1年の科目で、履修した科目の1年終了時点のGPAが1.7以上あること。
- ▶ 「法律基本科目群」の必修科目のうち、履修基準年度1年の科目の総単位数のうち20単位以上を1年終了時点で修得していること。
- ▶ 共通到達度確認試験において、総合得点率が50%以上であること。

2年生から3年生への進級に際して

- ▶ 「法律基本科目群」および「実務基礎科目群」の必修科目のうち、履修基準年度2年までの科目で、履修した科目の2年終了時点のGPAが1.8以上あること。
- ▶ 「法律基本科目群」および「実務基礎科目群」の必修科目のうち、履修基準年度2年までの科目の総単位数のうち40単位以上を2年終了時点で修得していること。
- ▶ 「法律基本科目群」の必修科目のうち、履修基準年度1年の科目の単位を2年終了時点で全て修得していること。

カリキュラムは予定であり変更の可能性がります。

授業紹介

刑法I



**未修入学者にとって一から基礎を学ぶ科目。
確固たる基礎力を身につけることこそが成功のカギ。**

刑罰の適用が恣意的なものにならないよう、国家刑罰権の発動をコントロールする刑事法。このうち、どのような行為が犯罪で、それに対してどのような刑罰を科すかを定めた法が、刑法です。この刑法を段階的に学修するために、関学ロースクールでは刑法関係の科目を複数設置しています。その出発点に位置づけられるのが「刑法I」です。

「刑法I」では、未修者の1年生を対象に、刑法総論を学びます。刑法総論とは、すべての犯罪に共通する一般的な事柄、たとえば因果関係、故意、正当防衛などを扱う分野です。一般的な問題が扱われるだけに、刑法総論の学修は、殺人罪や窃盗罪などの各種犯罪に個別具体的に扱う刑法各論（「刑法II」や「刑法III」で扱います）の学修に比べると、抽象的で難しくなりがちですが、「刑法I」の授業では、適宜具体例をあげながら、未修者にもわかりやすい授業になるよう心がけています。

民事ローヤリングI



**複雑に絡み合う事実。知識だけでは太刀打ちできない。
「法律家のように考える」訓練、それが実務基礎科目。**

事案についての解決策を調べて書いて説明するというアウトプット中心の授業です。まず、①当事者の要求と根拠となる事実の把握→②要求を成り立たせる請求権（効果）と条文の特定=仮説の設定→③要件の検討と仮説実現上の問題点（論点）の特定→④論点に関する調査と見直し（解釈論、立証方法など）→⑤解決策とその妥当性の検証、という思考プロセスをいわば「解剖」して提示します。

次に実習を通して、具体的な事案を用いて、特定の事実のもとでどういった権利が実現できるかという「法的メモ」を書く練習をします。仕上げとして、市民ボランティアによる模擬依頼者との法律相談を行います。法律家と同じように考え、調査し、法的メモを作り、口頭で説得力ある説明をするというシミュレーション授業です。こういった一連の段階的な学習を通じて、自らのインプットのあり方について見直すことも奨励しています。また、PDCA学習という方法論も学んでほしいと考えています。

憲法演習



**徹底的に重要判例を分析。
判例の射程を模索する楽しさを体感。**

憲法の条文は非常に簡素なものです。それゆえ、憲法に関しては、判例がとりわけ大きな重要性を持ちます。憲法の学修では憲法判例についての理解が不可欠です。そこで、2年生を対象とする本授業では、憲法判例の分析を徹底的に行います。

法的紛争には1つとして同じものはありません。個別の事案に先例を機械的にあてはめることは御法度です。事案分析に際しては、先例と当該事案との「距離」を意識することが大切です。したがって、本授業では、事実関係の等閑視や思考停止に陥ることなく、憲法判例を丹念に読み込むことに注力し、重要判例の射程を模索していきます。

「読める」ようになることは「書ける」ようになることの不可欠の前提です。本授業で判例を読み込んだ後は、その仕上げとして、事例問題の任意起案に取り組みます。起案⇒添削の過程を経ることで、判例の射程を意識した事案分析力・文書作成能力の向上が図られ、最終的に本授業の到達目標が達成されます。

SC教育

模擬依頼者（SC）を活用したシミュレーション教育 ～理論と実務の架橋～



模擬依頼者（SC）

「現実の法曹界も
認めるクオリティの
高い実務教育方法」

弁護士会からの要請を受け、弁護士
向け研修会にも本学のSCを派遣し
ています。

自分が弁護士になった姿を想像してください。

あなたの依頼人は直面しているトラブルに困り果て、悩みぬいた末にあなたに助けを求めてきています。あなたが放つ一言は相手に「安心を与える」こともあれば相手を「不安に感じさせ」たり「傷つかせ」たりもします。弁護士の一言は依頼人に対してとてつもない力を持っているからこそ、弁護士には高いコミュニケーション能力が必要なのです。

関学ロースクールでは、将来法曹実務家を目指す学生が学ぶ専門職大学院として、事件を法的に見るだけにとどまらず、その背後にある人間関係や人生の重みを受け止め、紛争を真摯に解決できる心温かい“よき仕事”を実践する法曹を養成することを目的として、全国的にも大変めずらしい、市民ボランティアの方々による模擬依頼者（SC=Simulated Client）を活用した独創的かつ先進的なシミュレーション教育を行っています。

実務基礎科目の授業に模擬依頼者として参加していただき、弁護士役のあなたの対応の「良かった点」や「改善点」を一般市民の感覚でフィードバックしてもらえることは、学生だけのロールプレイ型授業では得難い貴重な財産となっています。

このSCを活用したシミュレーション教育方法は、文部科学省採択事業として選定されました。弁護士会（兵庫県・大阪・岡山弁護士会）実施の研修会にSC役として派遣を要請されるほど高い注目を集めている取り組みで、まさしく関学ロースクールの特徴的な教育方法と言えます。

在学生のロースクール生活

※原則、2019年度取材時の情報を記載しています。

1年生

仲間や先輩、教職員との「連携プレー」の中で
法曹に必要な知識・能力・心得を習得できる環境があります。



甲田 もと美(未修)

関西学院大学法学部法律学科卒業

ロースクールを目指した理由

私が法曹を目指した理由は、法律事務所でも事務員として勤めていた際、目の前で助けを求め人々を救えない立場であることを痛感したためです。周りに相談できない悩みを抱え、解決策を知らないまま、やり過ごすように生活する人は、案外身近なところにいる。そういう人が気軽に相談できて、前を向いて進めるきっかけを与えられる弁護士になるため、ロースクール進学を決意しました。関西学院大学法学部時代、人との関わりを大切に学生や気さくな指導者に出会う中で、関西学院の魅力を感じていました。また所属ゼミ担当教員から勧められたこともあり、関西学院大学ロースクールでは法曹にとって必要な知識と心得を学ぶことができると考え、入学を志望しました。

入学した今、関西学院の魅力

現在は夢の実現に向け、まずは司法試験合格を胸に勉強に励んでいます。入学当初は勉強が苦手で長続きしない性格の私には、不安もありました。しかし、熱心な教員による授業・課題を利用しながら自学に励む中で、その不安を払拭することができました。また個性豊かな同期生と共に切磋琢磨する中で、継続して勉強する力がつき、相談しやすい先輩方からアドバイスを得ながら、こまめに勉強計画を立て効率的に過ごすことができている。さらに、学校の施設や制度の仕組みについての疑問は事務職員が解決してくださる点も心強いです。勉強を継続するためには、「自学自習をどれだけ充実させられるか」が重要だと思います。ただ一人で勉強を頑張るだけでは、不安や悩みが付き、長続きしません。関西学院大学ロースクールは、目標に向かって真摯に取り組めば、周囲の人との連携プレーで法曹に必要な知識・能力・心得を習得でき、合格への道を歩めるよう成長させてくれる場だと思います。ぜひ、皆さんも共に学び、己の進むべき道を切り拓きましょう！

WEEKLY SCHEDULE

春学期

	月	火	水	木	金
1	憲法Ⅱ (統治機構論)	民法Ⅰ (総則・物権)		民法Ⅰ (総則・物権)	
2	刑法Ⅱ (刑法各論)	憲法Ⅰ (人権論)	民法Ⅱ (債権各論)	刑法Ⅰ (刑法総論)	民法Ⅱ (債権各論)
3					
4					
5					基礎演習A

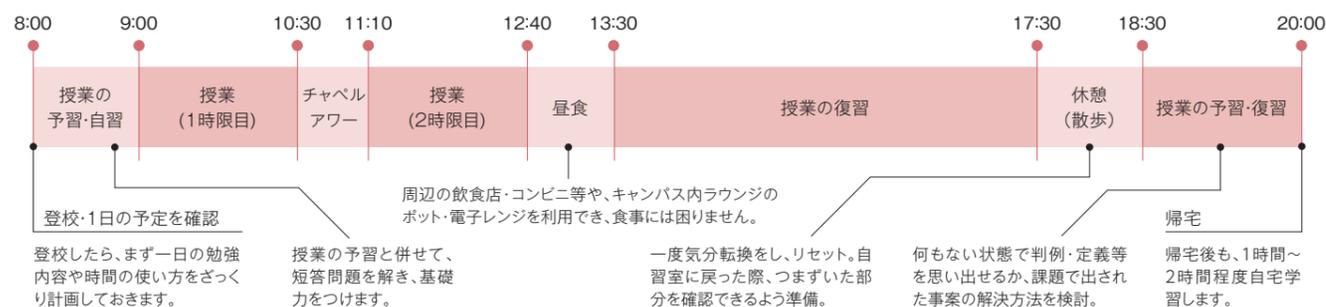
秋学期

	月	火	水	木	金
1	憲法Ⅲ (人権論)		民法Ⅲ (債権総論)		民法Ⅲ (債権総論)
2			民法Ⅳ (担保物権)	刑法Ⅲ (刑法各論)	
3		民事訴訟法			
4	刑事訴訟法				
5	英米法各論			商法入門	

※2020年度以降入学生は、その他民法Vの履修が必須です。

ONEDAY SCHEDULE

春学期



2年生

丁寧な指導が受けられる
「少人数制授業」と弁護士の先輩による「土曜ゼミ」を併用。
仲間と切磋琢磨しながら、力をつけています。



南 早紀(既修)

中央大学法学部法律学科卒業

ロースクールを目指した理由

手厚い奨学金制度があり、キャンパスはアクセスが良く利便性も高い西宮北口駅直結であること、伝統あるロースクールであることに魅力を感じ、関西学院ロースクール入学を志望しました。

入学した今、関西学院の魅力

入学当初は他大学出身であったため、関西学院大学出身の人や先輩方と馴染めるだろうか、充実した人的物的環境があるか不安もありました。しかし、入学してみるとその不安は消えました。関西学院からの入学者も他大学出身者も大体半々の割合で、入学時の懇談会やクラス制度により仲を深めることができます。先輩方と自主ゼミを組んでいる人も多いです。学生同士で協力し合いながら、ラウンジや多目的室を使用してわからない箇所についての質問や議論を行い、切磋琢磨しながら力をつけていくことができます。さらに、先生方は指導熱心な方が多く、授業中や授業後の質問に答えてくださるのはもちろんのこと、起案等も丁寧に見てくださいます。授業も少人数制のため、発言もしやすい環境です。また、自主ゼミに先生が入ってくださったり、本学ロースクール出身の実務家が講師を務めてくださる土曜ゼミという制度があります。私も土曜ゼミを活用していますが、苦手科目や集中したい科目のゼミを受けることができ、自習のみでは補えない知識や起案等の技術を向上させられます。特に、通常時では授業の予習復習が中心となることから、私は起案や司法試験の過去問などの勉強まで手が回らず、一人での自習では後回しになりがちでした。そこで、土曜ゼミを受講することによって、土曜ゼミのスケジュールに沿って起案や過去問等の検討をする機会を確保しています。豊かな人的物的環境の整った伝統ある関西学院ロースクールで、共に高みを目指しましょう。

※割合や実施プログラム等は年度によって変更する可能性があります。

WEEKLY SCHEDULE

春学期

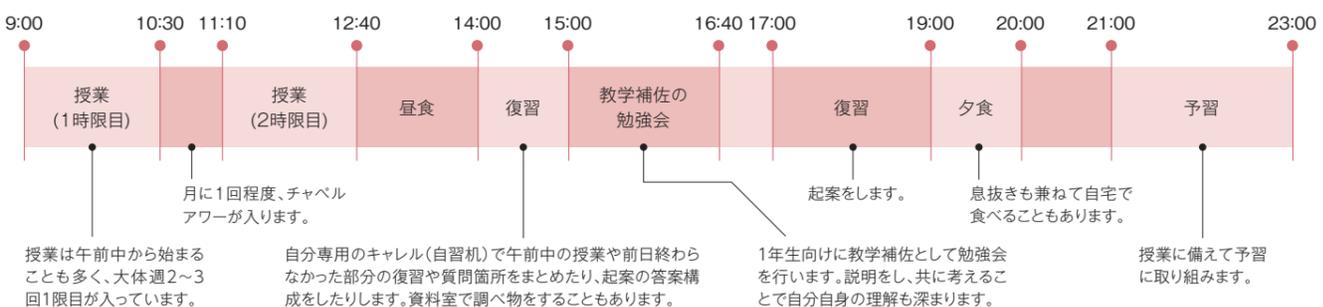
	月	火	水	木	金
1		憲法演習	民事裁判実務		
2			民事ローヤリングI	会社法	刑法演習
3	民事訴訟法	行政法I (行政救済法)			民法演習I (総則・物権)
4				犯罪学	
5					

秋学期

	月	火	水	木	金
1		刑事裁判実務I (捜査と公判の交錯)	民事裁判実務		刑事訴訟法演習
2	専門職責任 (法曹倫理)	民事訴訟法演習I (第一審判決手続)	民事ローヤリングI		民法演習II (債権)
3	簿記論			会社法演習	
4		行政法II (行政法総論)			
5					

ONEDAY SCHEDULE

春学期



学習サポート

授業で学んだことを確かな実力にしてもらうために、学習サポートプログラムを実施しています。このプログラムでは、司法試験に合格した本学修了生の全面協力のもと、司法試験合格を視野に入れたさまざまなプログラムを提供しています。まさしくロースクールに通い司法試験に合格した修了生だからこそできるアドバイスは、ロースクール生の強い味方です。



学習サポート講師として後輩をサポートしてくれる本学修了生の皆さん

土曜ゼミ(自主ゼミサポート型)

学生同士が自主的に実施しているグループ学習をOB・OGがきめ細やかにサポートします。

在学生のゼミをサポートする制度として、土曜ゼミ(自主ゼミサポート型)を設けています。このゼミは、在学生が土曜日等にゼミを組み、そこに司法試験に合格した関学ロースクール修了生がサポート役の講師として参加するというものです。少人数で参加者の希望に応じて行われるので、ゼミで扱った知識や考え方だけでなく、答案作成や日々の勉強の仕方などについても、講師からきめ細やかな助言・指導を受けることができます。春学期は5月から9月頃、秋学期は10月から3月頃の期間中に、月2回程度開かれます。



希望に応じてこれまで開講されたゼミ(抜粋)

- 憲法・民法・刑法の授業で出題・紹介された判例の検討
- 司法試験過去問題を中心とした問題演習

土曜ゼミ(講座型)

正課授業と連動して実施される各講座を通してOB・OGが学習内容の定着をサポートします。

ロースクールの授業では、学習内容の定着を図るため、各授業で任意起案などの課題が出されることがあります。このゼミでは、司法試験に合格した関学ロースクール修了生が、正課授業で課される任意課題の添削などのサポートを行います。講座は原則として学期ごとに開講し、学生は自分のニーズを照らし合わせ、希望する講座を受講できます。

参加学生の声

「定期的に土曜ゼミが開講されることで、起案することが習慣になって良かった」
「講師の先輩は、親身になって勉強の相談にのってくれる」「解説が分かりやすい」等、参加学生の満足度が高いプログラムです。

模擬司法試験

短答式・論文式を司法試験と同じ環境で実践体験。

司法試験の模擬試験(短答式・論文式)を受験する機会を年間2回設定しています。自己の学修状況を把握するとともに、実施日程や時間等、実際の司法試験に近い環境で受験することで本番に向けたイメージアップを図っています。



9月

当年度司法試験問題を使用し、本学が独自に実施します。作成した答案は現在法曹として活躍する本学修了生がすべて添削し、個別評価シートとともに受験生にフィードバックされます。

3月

株式会社TKCが実施している「司法試験全国統一模試」の受験を研究科として推奨しています。全国の受験生が大勢受験するので、自分が全国的にどの順位にいるかを把握し、その後の学修計画に活かすことが可能です。

学習サポートプログラム総会



教員と学生が一丸となり、教育内容の更なる向上に取り組んでいます。

司法研究科教員、学習サポート講師、在学生、修了生が一堂に会し、学習サポートプログラムに関する事例発表、意見交換、情報共有などを行う会合です。講師と学生がお互いに意見を交わし合うことで、学習サポートプログラムにおける教育内容の更なる向上を目指しています。

2020年度
実施内容

- (1) 司法試験合格者・土曜ゼミ講師／学習・指導事例発表…短答式試験対策、2020年度オンライン活用の実態も踏まえた指導方法等
- (2) 講師と学生によるグループディスカッション…テーマ:短答式試験対策や、新型コロナウイルスの影響下における効果的な学習等
- (3) ディスカッション結果の発表・共有…上記(2)で挙げた意見を全体の前で発表し、全体で共有する

教学補佐制度(ティーチング・アシスタント)

未修入学者の強い味方。
現役の先輩学生が勉強会でサポートします。

3年生または2年生の学生が教学補佐(ティーチング・アシスタント)となり、未修者の学習を助ける教学補佐制度を設けています。具体的には、憲法・民法・刑法などの基本科目について、各科目週1回程度、未修者を対象に勉強会を開催しています。ロースクールに入学して初めて法律を勉強する学生、基本知識が不足している学生、授業が十分理解できない学生など、各学生のレベルに応じて、教学補佐がフォローします。これにより未修者の学習がスムーズになり、教学補佐も自身の勉強を深めることができます。ここにも、切磋琢磨し支えあう、先輩と後輩の輪があらわれています。



学生生活サポート

ロースクールで学ぶ皆さんは、学校生活の大半の時間を大学で過ごすことになります。本学には、学習に適した環境・充実した学内施設を提供するとともに、学生生活をサポートし、より良いものにするためのさまざまな制度があります。これらの制度を活用し、自らの手で、毎日の学生生活をより充実したものにしていきましょう。皆さんの夢を応援します。

担当教員

本学には、皆さんの学生生活をサポートする“担当教員”という制度があります。皆さんも学生生活を送っているうちに、さまざまな悩みにぶつかることがあるかもしれません。それは授業や学習についてだけでなく、私生活、対人関係など、多岐にわたることもあるでしょう。そこで本学では、普段なかなか相談しにくいような内容でも、気軽に相談してもらい、学生生活をサポートしていけるように、学生一人ひとりに担当教員を割り当てています。身近な教員として、または良き相談相手として、この制度を存分に活用し、充実した学生生活を送ってもらいたいと思います。



クラス連絡会

学生生活を送っているうちに、自分たちが置かれている学内環境に対して意見が出てくることもあるでしょう。本学では、そんな学生の声を直接聞き、改善に活かしていくために“クラス連絡会”という組織を設置しています。クラス連絡会では、定期的に学生との間で会合を持ち、現状の学内環境の向上・改善に向けて、学生側、ロースクール側双方から提案し、議論・検討を行います。良い案については積極的に取り入れ、環境の向上を図っていきます。与えられた環境をただ受け入れるだけでなく、より良い環境を求めて、自らの力で変革していくことができます。

※2020年度は感染予防対策として、オンラインで随時意見集約を実施。



クラス連絡会の様子

教務補佐室

ロースクールには、授業運営や教材準備を担当する専属の教務補佐がいます。授業資料は、原則としてオンラインによるデータ配布となりますが、科目によっては、教務補佐室で紙媒体での資料配布を行っています。



授業資料

意見箱

クラス連絡会以外にも、大小さまざまな学生の声を聞き、より良いロースクールにしていきたいという目的でオンライン意見箱を設置しています。授業・施設利用をはじめとして、学生生活に関わるあらゆる内容を自由に投稿できます。投稿された内容はロースクールで定期的に確認し、学生の皆さんに回答をしています。



※写真はイメージです。

【留学】

アメリカのロースクールと提携し、国際感覚豊かな法曹を養成する。

関学ロースクールが目指す法曹像の1つである「国際的に活躍できる法曹」になるための一助として、一定の基準を満たした者が、本学在学中に休学することなくアメリカの提携ロースクールに1年間留学し、LL.M. (Master of Laws) の学位を取得できる制度を設けています。在学中の留学となるため、両大学の学費の納入が必要ですが、一定の基準を満たした場合、留学先大学に納入すべき授業料相当額の奨学金または本学に納入すべき学費相当額の奨学金を受給することができる制度を用意しています。



提携ロースクール



ボストン大学 (ボストン)
<https://www.bu.edu/law/>



サフォーク大学 (ボストン)
<https://www.suffolk.edu/law#>



ジョージタウン大学 (ワシントンD.C.)
<https://www.law.georgetown.edu/>



ホフストラ大学 (ニューヨーク)
<https://law.hofstra.edu/>



授業でのディスカッション



自習室で予習・復習



入学オリエンテーション



ラウンジで談話

キャリアサポート

就職活動支援

関学ロースクールでは、ロースクール生に特化したキャリアサポートを展開しています。法曹をはじめとした多様な進路選択(企業法務部門・公務員業界等)を支援します。西宮北口キャンパスという都心部へのアクセスの良さを生かし、修了後も皆さんが就職活動の支援を受けやすい環境整備に努めています。

充実のキャリア支援

キャリアプログラムは年間を通して多岐にわたります。オムロンエキスパートリンク株式会社と提携し、在学時から修了後まで、個人に寄り添った丁寧なサポートを実施しています。主なプログラムは次の4つです。

1 キャリアコンサルティング

キャリアコンサルタントが週1日程度常駐し、ロースクールでの学びを活かした「キャリア形成」や「就職活動」に関するコンサルティングを実施。

■ 参加学生の声

参加学生からは「就活やキャリアについて相談できる人は周りになかなかいないので、非常に精神的な支えになった」という声もあります。また定期的に利用して、勉強に対するモチベーションアップに繋げている方もいます。このようにプロのアドバイスのもと、学生の皆さんのキャリアサポートに取り組んでいます。

2 キャリアガイダンス



キャリア形成意識の醸成を目的として、さまざまなキャリアガイダンスを展開。(年間を通して約3回実施)

- 専任キャリアコンサルタントによるキャリア戦略ガイダンス
- 各分野で活躍するOB・OGによる講演会(弁護士、検察官、企業法務、裁判所、地方自治体ほか)

3 企業交流会



企業の法務部門や採用のご担当者を招いて、ロースクール生対象の「企業交流会」を実施。企業法務で働く魅力や、求める人材像について、セミナーや個別相談会を通して学べます。

4 実践型インターンシップ

契約関連業務や法律相談など、企業法務部門の業務を実際に体験できるインターンシップを複数企業で実施。(受入期間は約1週間～2週間)

■ 参加学生の声

企業法務志望ではなく、司法試験の勉強に力を入れたいと考えていた方でも、実際に企業でのインターンシップに参加した後、「ぜひ後輩にもおすすめしたい」という声があがるほど、充実した研修です。

OB・OGによる支援

ロースクールで学び就職活動をした経験を生かし、関学ロースクール同窓会を中心に、後輩の就職活動を支援するための体制の拡充に努めています。また、ロースクール生のための就職活動支援を行う企業と提携し、企業法務への就職活動支援にも取り組んでいます。

法曹への就職を目指す 司法試験合格者の方へのサポート	公務員を 目指す方へのサポート	企業への就職を 目指す方へのサポート
-------------------------------	--------------------	-----------------------

関学ロースクール同窓会によるサポートのほか、実務家教員も適宜相談に応じています。

OB・OGによる組織「公務員部会」の協力の下、ガイダンスの実施や相談に応じています。

OB・OGによる組織「企業法務部会」の協力の下、ガイダンスの実施や相談に応じています。

修了後の進路(実績)

■ 主な就職先

弁護士(法律事務所所属)	公務員その他	民間企業(法務部門) ※弁護士含む	民間企業(その他の職種)
<ul style="list-style-type: none"> ・ウエルタス法律事務所 ・北浜法律事務所 ・共栄法律事務所 ・新世綜合法律事務所 ・中本綜合法律事務所 ・弁護士法人グラス・オレンジ法律事務所 ・よつば法律事務所 	<ul style="list-style-type: none"> ・最高裁判所 ・内閣府(内閣官房舎) ・法務省 ・防衛省 ・総務省 ・大阪府警察本部 ・大阪地方検察庁 ・大阪地方裁判所 ・大阪家庭裁判所 ・神戸家庭裁判所 ・兵庫県庁 ・神戸市役所 ・大阪市役所 ・伊丹市役所 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪ガス株式会社 ・関西テレビ放送株式会社 ・シャープ株式会社 ・住友林業株式会社 ・東レ株式会社 ・西日本旅客鉄道株式会社 ・パナソニック株式会社 ・ライフソリューションズ社 ・株式会社堀場製作所 ・ヤンマー株式会社 ・楽天株式会社 	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社朝日新聞社 ・東急ファシリティサービス株式会社 ・日立オートモティブシステムズ株式会社 ・三菱電機株式会社 ・株式会社有斐閣



累計合格者 (2006年～2020年) **372名**
 現役(修了後1年目)合格率
 2020年 **50.0%** 2019年 **21.1%**

※合格者の中には、大学を3年で早期卒業し、ロースクール(法学既修者コース)を2年で修了、最短5年での司法試験合格者がいます。

詳細は本学ホームページを参照ください。



入学前サポート

ロースクール生活を送るためには、高い目的意識をもち、具体的に将来をイメージすることが大切です。関学ロースクールでは、学生の皆さんが勉強する目的を再認識したり、学習をスムーズに進められるように、入学前から在学中、修了後に至るまでさまざまなガイダンスや講演会を実施しています。

入学前学習サポートプログラム

■ 入学前ガイダンス

入学前学習プログラムの内容説明や、事前学習方法の指導はもちろん、在学生向けの「キャリアガイダンス」に参加し、現在弁護士として活動中の修了生および、その年の司法試験に合格した修了生による講演（在学中～司法試験合格～就職活動の体験談など）を聞くことができます。



■ キャリアガイダンスに参加した入学予定者の声

- 大変興味深く、今後の学習方針の参考になった。
- キャリアについて入学前から意識できた。
- 実際の弁護士の就活について採用者側の立場から聞ける貴重な機会だった。
- 弁護士事務所の採用のことを詳しく知ることができた。
- 就職した直後の1年目の方という比較的近い立場の実情が把握できた。
- 就活だけでなく、弁護士の仕事についても知ることができた。

■ 入学前勉強会

本学ロースクール教員が講師となり、各科目の基礎的内容を取扱う勉強会を実施しています。未修者は入学後学習に向けた導入として、既修者は入学後すぐに始まる演習科目に向けた基礎固めとして活用できます。



■ 授業聴講

本学ロースクールの正規授業を、秋学期中に継続して聴講できる制度です。ロースクールでの学習を肌で感じることができるとともに、入学前に本学教員との良い関係を築く機会ともなります。



■ 入学予定者交流企画

入学予定者同士はもちろん、ロースクール教員・在学生との交流を通じて、入学前学習のフォローアップや入学前の不安解消を目的に「ロースクール在学生との座談会」、「当年度司法試験合格者との意見交換」など、各回ごとに特色あるテーマを設定して実施しています。



■ 施設利用

資料室を開放し、配架書物の閲覧（持出厳禁）、閲覧スペースの自習利用が可能です。また、入学前勉強会開催当日は教室を開放し、勉強会の事前準備などを目的とした利用が可能です。



各種サポート

【 イベント 】

◆ 新入生特別講演会

高い目的意識を持ってロースクールに入学したばかりの時期に合わせ、これから自分が何のために勉強するのか、どのような法曹を目指そうとするのか、という点についてあらためて認識してもらうために、キャリアガイダンスとの合同企画として新入生特別講演会を実施しています。現実の訴訟や事案に携わられた関係者の方々から貴重なお話を伺うことで、これから始まるロースクール生活に、覚悟をもって臨んでもらえることを期待しています。



- ▶ 2019年度テーマ 「法律家の仕事とは？」-トウモロコシ医師法違反事件弁護人の視点から-
- ▶ 2018年度テーマ 「法曹の多様なキャリア、働き方」-法曹三者にとらわれないキャリア選択のためのロースクールでの学びのコツ-
- ▶ 2017年度テーマ 「生き延びるための適応」-虐待防止最前線からの報告-
- ▶ 2016年度テーマ 「クラブNOON裁判(風管法ダグ営業規制裁判)に学ぶ」

◆ 新入生オリエンテーション

いよいよロースクール生活が始まる時を迎えました。新入生オリエンテーションでは関学ロースクールについて説明するプログラム以外に、修了生や在学生に講演してもらうプログラムがあります。入学前ガイダンスでのパネルディスカッションとは異なり、ここではさらに具体的な話をしてもらいます。ロースクール入学者は、未修者コースで初めて法律の勉強を始める方、基礎的な法学知識はあるが未修者コースで入学する方、十分な法学知識を持って既修者コースに入学する方などさまざまな状況で勉強をスタートします。この新入生オリエンテーションでは、上記のようなパターンで会場を分け、それぞれのパターンに適合する先輩から話を聞くことができる機会を設けています。



◆ 司法試験合格者報告会・合格者アンケート

毎年、司法試験の合格発表後、その年の合格者を招いて在学生向けに報告会を実施しています。直近の先輩の合格体験談は、在学生が勉強を進める上で大変参考になります。また、合格者報告会は時間の制約上、合格者の一部の方にお話しただけですが、その他の合格者の方の体験談もできるだけ多く紹介するために、合格者アンケートも作成して配布しています。ひとくちに司法試験合格者といっても勉強方法や生活スタイルは千差万別であり、どれが正解というものでもありません。在学生はできるだけ多くの先輩の体験談を知ることで、自分に合う方法を見つけやすくなり、その後の勉強に大いに役立ちます。



司法試験合格者の勉強方法や生活スタイルを紹介するため、合格者アンケートを作成・配付しています。

修了生サポート

ロースクールは修了=終了ではありません。課程修了後も司法試験受験に向けた勉強、就職活動などがあります。ロースクール修了後の勉強スタイルは人それぞれですが、関学ロースクールでは、修了後も引き続き本学で学習を継続し、就職できるよう、さまざまなサポートを提供しています。

【 学習サポート 】

専門職大学院研修員制度

関学ロースクール修了後5年以内の方で、本学において教育研究諸施設を利用し、一定の期間勉学を継続することを希望する方に対して、専門職大学院研修員となる制度を設けています。専門職大学院研修員になれば、大学院学生共同の自習室およびグループ学習室が利用できるほか、大学図書館や本学教育研究システムが利用できるため、在学中に近い環境で勉学を続けられます。研修料(研修員になるための費用)は、年間10,000円、半年5,000円となっており、経済的負担も比較的小さい中で学習環境を維持できます。

■ 出願資格

関学ロースクール修了後5年以内の者で、本学において教育研究諸施設を利用し、一定期間勉学を継続することを希望する者

■ 研究資料

10,000円(1年間の場合)、5,000円(半年間の場合)

聴講生制度

関学ロースクール修了生の方を対象に、司法試験受験や仕事をする上で必要となる知識修得に向けての学習の一助として、本研究科の授業科目を聴講できる制度を設けています。受講できる科目は、本研究科が指定する科目に限りませんが、展開・先端科目を中心に幅広く聴講科目を用意しています。苦手分野の克服、司法試験選択科目の補強、仕事で取り扱う案件に必要な知識の修得など、各自のニーズに合わせて聴講することが可能です。

■ 出願資格

関学ロースクール修了生

■ 聴講可能単位数

1学期につき6単位以内

■ 聴講料

1単位につき10,000円 [例] 2単位の科目を2科目聴講する場合
10,000円×2(単位)×2(科目)=40,000円

学習サポート講座

在学生対象の「土曜ゼミ(自主ゼミサポート型)」「土曜ゼミ(講座型)」「模擬司法試験」を専門職大学院研修員に登録している修了生を対象に開講しています。なお、遠方に住む修了生向けに、土曜ゼミ(通信添削型)も開講しています。「土曜ゼミ」の受講および「模擬司法試験」の受験は、実質無料^{*}です。修了後は自分自身の確固たる学習計画に加え、これらの講座を上手に活用しながら司法試験合格を目指します。

^{*}2020年度現在、本学が指定する外部主催の全国実力確認テストを受験し、一定の基準を満たした場合は、受験料を全額補助しています。

土曜ゼミ
(自主ゼミサポート型)

土曜ゼミ
(講座型)

土曜ゼミ
(通信添削型)

模擬司法試験

学習サポートの詳細は25-26pをご覧ください。



【 就職活動支援 】

就職活動をする修了生を支援するために、各種キャリアプログラムを実施しています。また、本学と企業との間で提携し、企業法務部への就職を視野に入れた企業法務部インターンシップも実施しています。詳細は、下記をご参照ください。

キャリア・就業支援プログラムの実施

就職活動をする修了生の多様な進路選択・キャリア形成に向けて総合人材サービス・オムロンエクスパートリンク株式会社との提携プログラムを実施しています。

■ キャリアコンサルティング

専任コンサルタントが学内で週1日、希望者に対してキャリア・就業支援の個別コンサルティングを行います。修了生は、司法試験合格後の法曹としてのキャリアについてはもちろんのこと、自治体や企業の法務部門等、さまざまな進路を対象としたキャリア形成についての相談が可能です。また在学生にとっては、早い時期から中長期的な視野で自己のキャリア形成を考える良い機会となります。

■ キャリアガイダンス

司法試験合格発表後に合格者向けの就職活動講座を実施しているほか、市役所や民間企業等に就職した修了生や、そこで働く社員の方を講師として招き、それぞれの経験をもとにアドバイスをいただいています。

主な実施 ガイダンス

- ▶ 第1回:「法科大学院生のキャリアデザインとは?」
- ▶ 第2回: [第1部]公務員/行政書士/企業内法務部門担当者として活躍するOB/OGによる「就職活動経験談」
[第2部]キャリアコンサルタントによる「ロースクール生のための就職活動戦略」
- ▶ 第3回: OB・OG弁護士、およびキャリアコンサルタントによる「司法試験合格後の就職活動について」

■ 実践型インターンシップ・企業交流会

オムロンエクスパートリンク株式会社と提携し、企業へのインターンシップを実施します。実施の前には事前研修も行います。また企業関係者様との交流会を実施し、法務ご担当者から直接話を伺う機会も設けています。毎年度、修了生数名が複数の企業(従業員規模150~10,000名以上)の法務部門へ派遣され、企業法務の“現場”を経験しています。



OB・OG弁護士によるキャリアガイダンスでは、司法試験合格後のイメージを、より具体的にたかみず。



企業との個別相談会では、ロースクールで培った知識・経験の活かし方を伺います。



企業説明会では、企業法務の実態を学びます。

教員紹介

▶ 専任教員

研究者教員

憲法



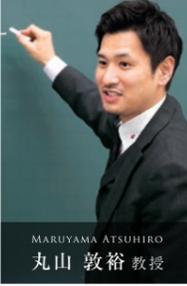
INOUE TAKESHI
井上 武史 教授

学歴 京都大学大学院法学研究科
公法専攻博士後期課程修了
博士(法学)(京都大学)

**研究テーマ・
専門領域** 憲法、憲法訴訟法、
非営利団体法

憲法の授業で学習する憲法判例は、私たちの先人が基本的人権を求めて争った記録でもあります。裁判を起こすだけでも大変なのに、最高裁まで争うというのはよほどのことです。皆さんが最高裁の判決を読むときには、法理論を覚えるだけでなく、そこまでして争わざるを得なかった当事者の苦境や切実な思いにも考えをめぐらせてほしいと思います。関西学院ロースクールでの学びを通じて、困難な状況にある人に寄り添うことができる、社会で本当に求められる法律家を目指しましょう!

公法



MARUYAMA ATSUHIRO
丸山 敦裕 教授

学歴 大阪大学大学院法学研究科
公法専攻博士課程単位取得満期退学

**研究テーマ・
専門領域** 憲法、ドイツ基本権論、
情報・メディア法

法的紛争には1つとして同じものはありません。それゆえ、学習した先例を個々の事案に機械的にあてはめることは御法度です。事案分析に際しては、先例と当該事案との距離感を意識することが最も大切です。授業では、「個別事情の捨象」や「十把一絡げ」といった思考停止を排除して、憲法判例を丹念に読み込んでいきます。憲法判例の射程を模索する楽しみを一緒に味わいましょう。

行政法



NAKAHARA SHIGEKI
中原 茂樹 教授

学歴 東京大学大学院法学政治学研究所
博士課程単位取得満期退学

**研究テーマ・
専門領域** 行政法、実効性確保、行政不服審査、
国家賠償、情報公開・個人情報保護

行政法では、「初見の法律」を解釈し、「初見の事案」に適用して解決することが求められます。無理だと思われるかもしれませんが、法曹実務家にとっては重要な能力です。行政法理論という「文法・公式」と、判例という「お手本・例題」の「使い方」を学び、訓練すれば、できるようになります。問題には多数の「ヒント」が散りばめられているので、大丈夫。一緒に学びましょう!

民事法



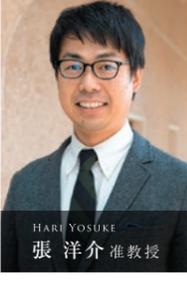
KANBE HIDEHIKO
神戸 秀彦 教授

学歴 東京都立大学社会科学部研究科基礎法
学専攻博士課程単位取得

**研究テーマ・
専門領域** 差止、公害、損害賠償

民法は広大な領域を含み、細部まで勉強し尽くすのは大変ですが、がんばりましょう。またでは、司法試験合格者数の抑制や弁護士の就職難などの暗い話題もありますが、抜群の快適な環境のもと、有能で熱意ある本学スタッフや先輩・友人と共に学ぶことで、必ず切り開いていけるはずですよ。

民事法



HARI YOSUKE
張 洋介 准教授

学歴 関西学院大学大学院法学研究科
民刑事法学専攻博士課程後期課程
単位取得満期退学

**研究テーマ・
専門領域** 物権法、土地法、土地所有権論

司法試験の勉強は、時間的にも長く量も膨大で相当にハードなものです。しかし、その分やりがいもあります。快適な学習環境に身を置き、司法試験合格という目的意識をもって2年間、あるいは3年間を関西学院ロースクールで過ごしてみませんか。私も、教員としてできる限りのサポートができるよう日々勉強中です。西宮北口キャンパスでともに学びましょう。

民法



YAMADA TOSHIKO
山田 到史子 准教授

学歴 大阪大学大学院法学研究科民事法学
専攻後期課程単位取得満期退学
博士(法学)(大阪大学)

**研究テーマ・
専門領域** 民法、契約法、国際統一売買法

夢の実現のためには、信念と覚悟が要求されます。それはおそらく、生半可なものではなく、昼夜を問わず、図書館で昔の生えるまで頑張ることが必要とされるでしょうが、努力の末にはきっと大きな希望が待っていることを信じて、ともに議論いたしましょう。

民事法



NODA TERUHISA
野田 輝久 教授
研究科長

学歴 青山学院大学大学院法学研究科私法
専攻博士後期課程単位取得満期退学
ドイツ・ミュンスター大学 法学博士号取得

**研究テーマ・
専門領域** 会社法、結合企業法、
コーポレートガバナンス

会社法は条文も多い上に、分かりにくい法分野かもしれません。ですが、より良い経済社会の実現の一翼を担う法分野でもあり、大企業にとっても中小企業にとっても重要な地位を占めています。学生諸君が法曹になってから会社法を活用できるように、その手助けができればと思っています。

民事訴訟法



SHIMOMURA MASAMI
下村 真美 教授

学歴 大阪大学大学院法学研究科民刑事法
専攻博士課程前期課程修了

**研究テーマ・
専門領域** 民事訴訟法・民事執行法・
民事保全法・権利実現

他人に連れられて行った道はすぐに忘れませんが、自分で地図を読み、迷えば道行く人に尋ねて目的地まで着いた道は忘れません。法律の勉強も同じです。自分で基本書等を読み込み、考え、書くという作業をしなければ、司法試験に合格できません。教員は、「カーブあり」、「落石注意」等、標識の役割をしながら皆さんの伴走をしますが、道を行くのは皆さん自身です。本研究科でお待ちしております。

刑事法



ARAKAWA MASAYUKI
荒川 雅行 教授

学歴 関西学院大学大学院法学研究科民刑事
法学専攻博士課程後期課程退学

**研究テーマ・
専門領域** 刑法、犯罪、経済犯罪

刑法はとっつきにくい科目だと言われることがありますが、論理的思考力を身につけるための格好の素材だと思います。私の担当目標は、学生諸君が刑事実体法の諸原則ならびにいわゆる犯罪論(体系論)及び個別の犯罪各論の基本的な知識を修得すること。さらには、事実の分析能力や体系論的な刑法解釈論を涵養し、実務法曹としての必要な問題解決能力を獲得していくことをサポートすることにあります。しっかりとがんばってください。

刑事法



NAKAMURA YUTO
中村 悠人 准教授

学歴 立命館大学大学院法学研究科
博士課程後期課程修了
博士(法学)(立命館大学)

**研究テーマ・
専門領域** 刑法、刑罰論、犯罪論、自由と責任

刑法は、抽象的に理解しにくい学問であると思われがちですが、その理論は具体的・実務的な問題の解決を目指して展開されています。論理性、体系性と具体的帰結の妥当性を確保することが目指されているのです。これを達成するためには、解釈だけでなく事案の分析能力も必要になってきます。このような能力の涵養を通じて、法曹実務家として必要な問題解決能力を身につけていってもらえればと思います。私もお手伝いができるよう、尽力します。

刑事訴訟法



KYO AKIRA
京 明 教授

学歴 一橋大学大学院法学研究科博士後期
課程修了、博士(法学)(一橋大学)

**研究テーマ・
専門領域** 被疑者取調べ、自白、イギリス

ロースクール生にとって司法試験はとてつもなく高い壁のように思えるかもしれませんが、実務家になるうえでは最低限のスキルを試す一つの登竜門にすぎません。そして、そのスキルとは、法的三段論法の適用能力と言っても過言ではないでしょう。理想を実現するためのスキルの修得。身につけるのは決して容易ではありませんが、私も教員の一人としてそのお手伝いできればと思っています。

▶ 専任教員

実務家教員



IKEDA NAOKI
池田 直樹 教授
(弁護士)大阪弁護士会・
あすなろ法律事務所

学歴 東京大学法学部卒業
ミシガン大学ロースクール卒業(LL.M)

**研究テーマ・
専門領域** ローヤリング、シミュレーション教育、環境紛争

事実が与えられたとき、法律家らしい思考プロセスで解決案を提示する方法をマスターすることが目標です。正確な(限られた)知識をもとに、正義の感覚を重んじながら法律家らしい手順で解決案を模索していく。具体的な場面を想定しながら、条文での基本確認、言い分方式、法的メモ、模擬依頼者との面談、グループ討議など、ユニークな方法論を用いて、親身になって皆さんを徹底訓練します。



INADA MASAKI
稲田 正毅 教授
(弁護士)大阪弁護士会・
共栄法律事務所

学歴 大阪大学法学部卒業

**研究テーマ・
専門領域** 事業再生・企業倒産、企業法務、債権法改正

法曹実務家には、法律や判例の基本的な知識のほか、妥当な解決に向けた柔軟な法的思考能力、バランス感覚ある事実探求能力が必要です。その能力を獲得できるように、皆さんを精一杯サポートしたいと思います。ただ、教員の力には限りがあります。皆さん自分自身が弛まずに自己研鑽に努める向上心を持ち、同じ夢をもつ仲間たちと切磋琢磨していくことを期待しています。



KAMEI HISAYA
亀井 尚也 教授
(弁護士)兵庫県弁護士会・
かけはし法律事務所

学歴 東京大学法学部卒業

**研究テーマ・
専門領域** 紛争解決、裁判の法政策形成機能、法曹の役割

法曹は、常に人への共感や正義感をベースに、事実と理論を探究し、全人格をもって社会に訴えていく魅力的な仕事です。私は、皆さんに、法を単なる知識でなく使える武器として身につけてもらえるよう、また法曹が紛争の解決にどのような役割を果たすべきかをいつも考えてもらえるよう、共に格闘したいと思います。特に模擬依頼者を活用したシミュレーション教育に力を入れています。

▶ 専任教員

実務家教員



KOJIMA SACHIKO
小島 幸保 准教授
(弁護士)大阪弁護士会・
小島法律事務所

学歴 関西学院大学法学部卒業
大阪工業大学知的財産専門職大学院修了

**研究テーマ・
専門領域** 契約及び交渉実務、著作権法、消費者法

皆さんは、どのような法曹を目指しますか。社会の複雑化や国際化にともなって、法曹像も変化し、その活動領域はどんどん広がっています。ロースクールで習得する知識が、法曹実務にどのようにつながるのを知り、法曹としての社会での役割や使命も一緒に考えていきたいと思っています。私たちとともに、リーガルプロフェッショナルへの道を着実に進んでいきましょう。



TAKAYAMA IWAO
高山 巖 教授
(弁護士)大阪弁護士会・
セラス法律事務所

学歴 東京大学法学部卒業
京都大学法科大学院修了

**研究テーマ・
専門領域** 刑事裁判実務・法廷技術

刑事裁判の法廷は、国家権力が市民の自由・財産・生命を強制的に奪うことが正当化されるかどうかを見極める場です。刑事弁護人は、憲法と法律にしたがって、依頼者たる被告人の権利を徹底して擁護し、刑事裁判のルールに則った審理を求めていかなければなりません。それを実現するには、証拠法の正しい理解はもちろんのこと、法廷で判断者たる裁判官(時には裁判員)に、被告人の主張を証拠と論理によって理解してもらうための確かな法廷技術が不可欠です。理論と技術、そして情熱が法廷の空気を変えることを知ってほしいと思っています。



TSUDA KAZUYUKI
津田 和之 教授
(弁護士)兵庫県弁護士会・
神戸山手法律事務所

学歴 同志社大学法学部卒業
関西学院大学大学院司法研究科修了

**研究テーマ・
専門領域** 自治体法務、行政法、住民訴訟

私は、関西ロースクールの1期生です。法律の勉強には、決して「効率的」とか「近道」はありません。そのため、ロースクールでの日々は決して楽なものではありません。ロースクールの2年間ないし3年間は、毎日勉強づけになって、仲間と一緒に地道な努力を繰り返し行うことにより、きっと法曹への道は開けてくると信じています。ともに法曹の道を目指して頑張りましょう。



MORISATO NORIYUKI
森里 紀之 教授
(裁判官)神戸地方裁判所判事

学歴 京都大学法学部卒業

**研究テーマ・
専門領域** 裁判実務、事実認定

刑事訴訟法は、刑事裁判を行うためのルールですので、刑事裁判実務の具体的なイメージを持つことができれば、刑事訴訟法の理解をより一層深めることができると思いますし、苦手な方もその面白さを知ってもらえると思います。そのような観点から、刑事裁判官としてのこれまでの経験を活かし、皆さんが実務家になるためのお手伝いできれば嬉しく思います。



YOSHIKAWA SHINICHI
吉川 慎一 教授
(元大阪高等裁判所判事)

学歴 京都大学法学部卒業

**研究テーマ・
専門領域** 要件事実論、訴訟運営論(事実認定論)

要件事実論と訴訟運営論(事実認定論)は、民事裁判実務の基礎であるばかりでなく、法曹としての考え方や仕事のやり方の基礎ともいえます。向学心のある皆さんと共に、議論の出発点に立ち返って法理論を理解し、正しい道筋で考えるだけでなく、その過程を第三者に対して説明する方法も研究して、皆さんが法曹としてのスタートラインに立つことを目指します。

教員紹介



基礎演習A・Cの担当者として、本学出身の若手法曹3名を講師として迎えています。基礎演習Aは新1年生を対象とした授業です。ここでは、皆さんが今後学修していくにあたって必要とされる基本的な法的知識はもちろん、法的思考力の醸成や、自学自習の土台作りを目的としています。また、基礎演習Cは2年生を対象にした授業で、民法総則物権全体を復習し、民法の基礎力を高めることを目的としています。実際に関学ロースクールで学び、司法試験に合格した先輩として、さまざまな視点から皆さんを導きます。

	<p>UCHIDA MASAFUMI 内田 昌史 (弁護士)大阪弁護士会・門脇法律事務所</p> <p>学歴 大阪大学経済学部卒業 2009年4月入学(未修) 2012年3月修了 2012年司法試験合格</p>
	<p>SASAKI AKIRA 佐々木 章 (弁護士)大阪弁護士会・C&L法律事務所</p> <p>学歴 同志社大学法学部法律学科卒業 2004年4月入学(既修) 2006年3月修了 2006年司法試験合格</p>
	<p>SAITO SATORU 齋藤 悟 (弁護士)兵庫県弁護士会・神戸仲町通法律事務所</p> <p>学歴 関西大学総合情報学部卒業 2009年4月入学(未修) 2012年3月修了 2012年司法試験合格</p>

最短=5年(法学部3年+法科大学院2年)で 司法試験現役合格の修了生が語る!関学ロースクールの魅力

	<p>AIHARA KENGO 相原 健吾 (弁護士)兵庫県弁護士会・神戸合同法律事務所</p> <p>学歴 関西学院大学 法学部早期卒業 2015年4月入学(既修) 2017年3月修了 2017年司法試験合格</p>
--	--

相原弁護士・実務家教員による
WEBインタビュー内容は
こちらから▶

Short Movie
「弁護士にきく
法曹の仕事とその魅力」
▶2021年4月初旬頃公開予定!

- 1 教員との距離が非常に近いので、質問しに行きやすい環境があります。疑問点をすぐに解消することができることは、勉強にとって大きなプラス要素となります。
- 2 現役の実務家教員^{*1}が多いことも大きなメリットです。実務の話の間近で聞くことができるので、自分の弁護士像を具体的に描くことができます。
※1 現役の法曹(弁護士・裁判官等)でありながら、本学の教員として授業を担当。
- 3 司法試験に合格した先輩からのサポートを受けられる土曜ゼミ^{*2}というものがあります。司法試験を受験した生の体験談を聞くことができたり、試験ならではのコツやテクニックを学ぶことができたりと非常に勉強になります。
※2 土曜ゼミの詳細は25-26pを参照ください。

▶ 兼任教員・兼任教員

<p>兼任教員</p> <p>一高 龍司 現職 関西学院大学法学部教授 主な担当科目 税法</p>	<p>北山 俊哉 現職 関西学院大学法学部教授 主な担当科目 公共政策論</p>
<p>大宮 有博 現職 関西学院大学法学部教授 主な担当科目 キリスト教と人権</p>	<p>守屋 浩光 現職 関西学院大学法学部教授 主な担当科目 近代法の形成</p>

兼任教員

<p>青木 哲 現職 神戸大学大学院法学研究科教授 主な担当科目 民事執行・保全法</p>	<p>豊田 兼彦 現職 大阪大学大学院法学研究科教授、元関西学院大学大学院司法研究科教授 主な担当科目 刑法特講B</p>
<p>赤西 芳文 現職 近畿大学法科大学院教授 主な担当科目 リーガルビックス</p>	<p>中野俊一郎 現職 神戸大学大学院法学研究科教授 主な担当科目 国際私法、国際民事手続法</p>
<p>東 龍平 現職 税理士 主な担当科目 簿記論</p>	<p>中村 衣里 現職 弁護士 主な担当科目 ジェンダーと法</p>
<p>内田 昌史 現職 弁護士 主な担当科目 基礎演習A</p>	<p>仁木 恒夫 現職 大阪大学大学院法学研究科教授 主な担当科目 法社会学、司法制度論</p>
<p>江口 文子 現職 弁護士 主な担当科目 消費者法</p>	<p>西尾 幸夫 現職 元関西学院大学大学院司法研究科教授 主な担当科目 会社法、会社法演習</p>
<p>長部研太郎 現職 弁護士、元関西学院大学大学院司法研究科教授 主な担当科目 立法演習</p>	<p>平野 仁彦 現職 立命館大学名誉教授、立命館大学法学部特任教授 主な担当科目 法哲学</p>
<p>海道ノブチカ 現職 関西学院大学名誉教授、元関西学院大学商学部教授 主な担当科目 経営学</p>	<p>藤井 司 現職 弁護士 主な担当科目 経済法演習</p>
<p>河村 学 現職 弁護士 主な担当科目 労働法演習</p>	<p>古庄 俊哉 現職 弁護士 主な担当科目 知的財産権法I(特許権)、知的財産権法演習I(特許権)</p>
<p>久保 成史 現職 元姫路獨協大学大学院法学研究科教授/経済情報研究科教授 主な担当科目 経済法</p>	<p>前田 忠弘 現職 甲南大学法学部教授 主な担当科目 犯罪学</p>
<p>黒田 愛 現職 弁護士 主な担当科目 法律英語</p>	<p>前田 麻衣 現職 弁護士 主な担当科目 ジェンダーと法</p>
<p>齋藤 悟 現職 弁護士 主な担当科目 基礎演習A</p>	<p>丸田 隆 現職 弁護士、関西学院大学名誉教授 主な担当科目 英米法総論、英米法各論</p>
<p>酒井 紀子 現職 弁護士 主な担当科目 経済法の基礎</p>	<p>村上 博一 現職 弁護士、元関西学院大学大学院司法研究科教授 主な担当科目 商法総合演習</p>
<p>櫻庭 涼子 現職 神戸大学大学院法学研究科教授 主な担当科目 労働法I(個別労働関係法)、労働法II(労使関係法と労働争訟法)</p>	<p>安原 徹 現職 公認会計士 主な担当科目 会計学、税法演習</p>
<p>佐々木 章 現職 弁護士 主な担当科目 労働法演習、基礎演習C</p>	<p>山形 英郎 現職 名古屋大学大学院国際開発研究科教授 主な担当科目 国際法、国際法演習</p>
<p>曾和 俊文 現職 関西学院大学名誉教授、同志社大学特別客員教授 主な担当科目 自治体行政法、自治体環境法</p>	<p>山下 侑士 現職 弁護士 主な担当科目 倒産処理法演習</p>
<p>平 覚 現職 大阪市立大学名誉教授 主な担当科目 国際経済法</p>	<p>李 嘉永 現職 近畿大学人権問題研究所准教授 主な担当科目 国際人権法</p>
<p>巽 昌章 現職 弁護士、元関西学院大学大学院司法研究科教授 主な担当科目 刑事模擬裁判</p>	<p>和田谷幸子 現職 弁護士 主な担当科目 ジェンダーと法</p>
<p>堤 龍弥 現職 弁護士、関西学院大学名誉教授 主な担当科目 民事訴訟法(第一審判決手続)、民事訴訟法II(上訴・覆審訴訟)、民事訴訟法演習</p>	<p>鰐部 昌彦 現職 元帝人フロンティア株式会社法務審査部長 主な担当科目 企業法実務I(企業統治とリスク管理)、企業法実務II(ビジネス法務)</p>

OB・OGのロースクール生活

司法試験に一度の挑戦で 合格した先輩はこんなロースクール生活を送っていました



〈既修〉大森さんの2年間

大森 楓

関西学院大学法学部法律学科卒業
2017年4月 関西学院大学法科大学院(既修)入学
2019年3月 関西学院大学法科大学院修了
2019年9月 司法試験合格

ロースクール入学準備

司法試験の概要をつかむ準備期間として活用。

あまり司法試験の知識がなかったため、入門書を読み、各法分野の概要を把握することから始めました。入学前の準備によって、入学後の授業内容をつかみやすくなり、良いスタートが切れました。



〈未修〉福本さんの3年間

福本 龍之介

近畿大学法学部法律学科卒業
2015年4月 関西学院大学法科大学院(未修)入学
2018年3月 関西学院大学法科大学院修了
2018年9月 司法試験合格

ロースクール入学準備

視野を広げるため、法律以外の書籍を読んでいました。

政治学や心理学、小説など多彩なジャンルの本を読んで、法律以外の知識を蓄える「準備期間」として過ごしました。入学してからは法学の勉強ばかりになるので、この経験は有意義だったと思っています。

2年生

予習に注力し、深く理解した状態で授業に臨む。

クラスメイトが担当する問題であっても自分なりに答案を作成するなど、授業の理解を深めるための予習を欠かさず行いました。「憲法演習」では、事実経過や判例の根拠についてわかりやすく学べました。教科書を読んだだけではなかなか理解できない憲法分野への苦手意識を緩和できた科目です。先生一人当たりの学生数が少ない点が、関学ロースクールの特長の一つ。授業後には先生にじっくり質問できるので、分からない部分はすぐに解決することができます。

メリハリのある生活が心がる

授業期間中は勉強に追われる日々だったので、夏休みにはリフレッシュの時間を意識的に設けました。日帰り旅行など、屋外での行動時間を増やすことで、モチベーションを回復できました。

3年生

司法試験本番を意識して勉強に臨む。

秋学期には1日に2通程度の答案を作成。作成と復習に6時間かかるので忙しくなりましたが、その分自身の成長を実感しました。以前解いた問題に再挑戦することも増え、同じ間違いを繰り返してしまった時は、間違えた内容を付箋に書き、自分のキャレに貼って覚えるようにしました。模擬司法試験にも挑戦。時間など本番と同じ状況で問題を解くことができる貴重な機会でした。課題の残る結果でしたが成績が伸びている実感はあったので、今までの積み重ねを信じ教科書を読み込むスタイルを貫きました。

授業の他にも充実した学びが

土曜ゼミは弁護士の先生に答案を添削していただけます。司法試験合格者の先輩として、ツボを押さえた解答方法などの技術的な点についても教えていただけるため、積極的に活用しました。

ロースクール
修了後
司法試験まで

今までの努力を信じて。

教科書を読み、問題をいくつも解いていった結果、教材の解説等を参考に友人同士で答案の添削ができるように。他の人の解答を採点する中で「この問題の中で何が重要か」を意識するようになり、出題する側の視点で問題を見る力がつきました。集中して勉強することで不安な気持ちを抑えられるため、試験前日までロースクールで勉強を続けました。学内で先生と会った時のちょっとした会話に励まされたことも、いい思い出です。最終的に「やれることはやった」という自信を持って試験に臨めました。

1年生

知識不足を感じ、授業の予習に力を入れる。

法学部だったので法律の勉強はしてきたつもりでしたが、授業についていくためにはもっと知識が必要だと痛感。基本書や判例を必死に読んでいたことを覚えています。夏休みも含め毎日ロースクールに通い、自習室を利用していました。毎日学校に通うことで、周りにいる学生が勉強に励んでいる姿から刺激をもらっていました。

時にはリフレッシュも

授業がない時は、映画を見たりジムに行ったりしていました。オンとオフをうまく切替えることで視野が広がり、集中力がつきました。

2年生

実践的な学びの場面では、「考える」機会が増える。

2年次になると情報をもとに解決策を考えたり、実際に内容証明郵便を書いたり、知識を得る授業から実務的でアウトプットの多い授業に変わりました。実践的な問題に取り組む中で、予習よりも効果の高い復習中心の勉強法に一新。法律事務所での2週間のエクステーンシップでは自分の力不足に危機感を抱き、今まで以上に勉強に励むようになりました。

3年生

弱点をなくし、試験合格に必要な能力を養う。

授業で解いた問題の復習を中心に勉強。土曜ゼミでは自分の間違えた部分を集めた「べからず集」を作成し、自分のつまづきやすいポイントを洗い出していました。友人たちと判例に対する討論を行っていた際に、勉強しても結果の出ない原因が表現力不足にあると気づき、説得力のある表現力に磨きをかけていきました。

充実した学習サポート

関学ロースクールの特徴は、人との距離の近さ。学生同士はもちろん、先生との距離が近く、親身になって教えていただけます。先生に相談しやすい環境が自分にはとてもマッチしていました。

ロースクール
修了後
司法試験まで

自分に合った方法で合格を勝ち取る。

研修員制度を利用し、修了後も継続してロースクールで勉強していました。3年間の在学期間で、自分にぴったりの学習法を模索し「復習」と「議論」を重視した結果、司法試験合格につながりました。自分には何が足りないのか、大切なものは何か、を理解したうえで勉強することが重要だと思います。

各界で活躍している OB・OGからのメッセージ

01 検事

小原 彩那



マニュアルでは絶対に処理できないような仕事ばかり。だからこそやりがいを感じるし、探求心をもって何事にも食らいつくという想いを胸に、楽しみながら日々の仕事に取り組んでいます。

仲間とともに切磋琢磨し、支え合った日々。
至れり尽くせりの万全な環境で勉強に取り組む。

私は大学の頃から刑事ドラマや推理小説が好きでした。そこから“捜査”というものに魅力を感じ、検察官になりたいと思ったことがロースクール受験のきっかけでした。

その中でも関学ロースクールは、修了生による多彩な学習サポート、少人数学習の徹底、手厚い奨学金制度など、自分にとって最適な環境が整っていました。

関学ロースクールには皆で支え合い、切磋琢磨して合格を目指す風土があります。目的意識の高い学生同士で刺激しあいながら、授業やグループ学習に取り組むことができました。勉強漬けの毎日でしたが、定期試験後に友人と打ち上げに行き、朝方まで飲み明かしたことも良い思い出です。私が1回目の司法試験で不合格となり意気消沈していた時も、友人が励ましてくれたおかげで“もう一度がんばろう”と思え、最終的に合格することができました。私にとって仲間の存在はとても大きなものでした。

その後司法修習生になり、検察修習で初めて取調べを経験した際「これまで分かっていた事実を、被疑者に話を聞くことで知ることができる、そしてそこから新たな事実が分かる。」といった一連の流れを学びました。この経験を通して“捜査”というものに大きなやりがいを感じ、検察官を志望しようと改めて決意しました。

検察官の仕事の中心は、被疑者・被害者・参考人といった事件の関係者から話を聞くことです。事件によって問題点は異なるので、その点を意識して関係者から話を聞くこととなります。それぞれ立場が違えば事件についての見方も異なるため、相手の考えを汲んで形にする必要があります。マニュアルでは絶対に処理できない仕事だからこそ、やりがいを感じています。

Profile 志望館大学法学部卒業
2012年 4月 関西学院大学法科大学院(既修)入学
2014年 3月 関西学院大学法科大学院修了
2015年 9月 新司法試験合格
2016年 12月 検事任官、大阪地検検事
2018年 4月 広島地検検事

02 弁護士

青木 良和 かけはし法律事務所 勤務



今の業務の根幹をなすのはロースクールでの学び。
2年間で学んだ知識と経験をフル活用して、
困っている人の力になれるよう、日々努力しています。

関学ロースクールで学んだ2年間で、
なくてはならない弁護士の「いろは」を学びました。

弁護士という職業に対する憧れと「自由」というイメージから、弁護士を目指すようになりました。周りの友人が就職活動をしている中、自分一人だけ進学という道を選択しているということに不安はありましたが、学生時代を過ごした馴染みある場所で勉強を続けたいという思いから関学ロースクールを選択。奨学金などの金銭的サポートが充実している点も魅力です。

在学中は色々としりこみながら勉強したことを覚えています。一人で勉強することも多かったのですが、力を貸してくれる友人や先生方に恵まれ、充実したロースクール生活を送ることができました。依頼者の抱える問題をどのように法律分野の内容に落とし込んでいくか、情報の集め方や調査の手順など、ロースクールで学んだ知識やスキルが日々の仕事の根幹になっています。

私が仕事をするうえで一番やりがいを感じるのは、「困っている人の力になれる」という点にあります。我々の元に来る人たちはトラブルに巻き込まれていたり、悩み事を抱えていたりする 경우가多数。そのような人の力となり、元の生活を取り戻せた時の安堵や喜びの表情を見たとき、弁護士になってよかったと実感します。現在はその一環として企業を相手とする消費者問題に取り組んでいます。目の前の依頼者の力となるばかりでなく、社会に良い影響を与えられるきっかけを作り出したいです。

Profile 関西学院大学法学部卒業
2015年 4月 関西学院大学法科大学院(既修)入学
2017年 3月 関西学院大学法科大学院修了
2017年 9月 司法試験合格

03 企業法務

荒川 真里 弁護士・株式会社SCREENホールディングス 勤務



グループ企業の法務を担う環境で、
社会の実情を学ぶ日々。
案件から学ぶことは多く、興味は尽きません。

今の自分を支えているのは
ロースクールで仲の良い友人と一緒に学んだことです。

学部生時代に早期卒業や手厚い奨学金制度があることを知り、通い慣れた関西学院のロースクールに進むことを決意。先生方の対応が細やかで、学習環境も整っていると感じた点も入学を決めたポイントです。

少人数で取り組める土曜ゼミは、気心の知れた友人たちと自分の得意分野を教え合ったり、気になる部分や突っ込んで聞けたり、一緒に楽しみながら学ぶことができました。一度目の試験では惜しくも合格点に届かなかったのですが、二度目の試験に臨む際は、苦手な科目を克服する等の改善を試みました。そのために土曜ゼミの通信添削をフル活用し、「書く力」を強化。卒業後の勉強は孤独でしたが先生や先輩方から暖かい励ましの言葉をいただき、無事試験に合格することができました。

修了後はすぐに法律事務所勤務するよりも、まず社会の仕組みや企業法務の実務を勉強しておきたいと思ったため、一般企業の法務部門で勤務することに。民法や商法、労働法などロースクールで学んだ知識を活かしながら奮闘する日々ですが、企業法務と一口に言っても扱う案件の幅は広く、例えば独禁法や知財法の知識が必要となることもあり、さらなる勉強に励んでいこうと思っています。海外取引も多いので、英語力の強化や国際取引に関する知識を身につけることもこれからの課題です。将来的にはさまざまな法律の知識を活かしてさらに活躍したいと考えています。

Profile 関西学院大学法学部卒業
2012年 4月 関西学院大学法科大学院(未修)入学
2015年 3月 関西学院大学法科大学院修了
2016年 9月 司法試験合格

04 公務員

内川 良 群馬県庁 勤務



ロースクールで得た知識と経験が生きる職場。
法令への理解を深めながら
行政としての説明責任を果たす。

授業を受けて終わり、ではないロースクール。
様々な人とのつながりを糧に成長できる環境です。

関学ロースクールに入学を決めたポイントは、学習環境が充実しているところでした。勉強したいと思えば学生のやる気のおかげでステップアップすることが可能。例えば土曜ゼミでは司法試験受験を経験したOB・OG弁護士の方と交流する機会があり、疑問を解消するだけでなく、論述の方法などの試験に関するテクニカルな部分も教わることができました。また、「2年生の夏頃は〇〇くらいの成績をとっておいた方がいい」というような具体的なアドバイスももらえるので、目標を立てる際にも参考になったことを覚えています。授業は内容の濃いものばかりで予復習が重要。毎回苦労したことを覚えています。その中で学習の支えとなったのは周囲の友人たち。一緒に勉強することで、分からない部分をなくし、一人では気付けなかった部分に気付かせてくれるなど、多くの場面で助け合うことができました。

友人たちと地域のイベントと一緒に参加した際に、イベントスタッフの方々の成功への熱意に圧倒され、自分も地域のために働きたいと思うようになりました。元々困っている人々の助けをしたいと思っていたことに加え、ロースクールで学んだことを生かせる場として選んだのが、地元でもある群馬県庁。県の保有する公文書の開示請求や、情報公開に係る条例の解釈・運用について他部署からの問い合わせに対応しています。授業で学んだ「法令等の趣旨や目的から条文を解釈すること」を意識し、前例がない場合も精度の高い回答ができるように法令への理解を深めながら、適切な行政運営に貢献していきたいと思っています。

Profile 獨協大学法学部卒業
2012年 4月 関西学院大学法科大学院(未修)入学
2016年 3月 関西学院大学法科大学院修了